

予 算 科 目	06農林水産業費	03水産業費	03漁港管理費	04農山漁村地域整備交付金事業
細 事 業 名	01 農山漁村地域整備交付金事業			決算書 P.116
総 合 計 画	計 画 項 目	3 「海業」とつくり育てる漁業の振興		
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率 (参考)当初予算額
15,120千円		15,120千円	0千円	100.0 % 16,000千円
目的	海岸法及び同法施行規則に基づき、対象となる漁港海岸保全施設の機能診断を行い機能保全計画を策定することで、各施設の長寿命化と維持更新コストの縮減を図る。			
主要な事務・事業の概要	対象となる浅茂川漁港、袖志漁港、竹野漁港、小間漁港の漁港海岸保全施設機能保全計画を策定した。			
	○委託料 15,120千円 ・漁港海岸保全施設機能保全計画策定業務 漁港海岸保全施設4か所（浅茂川、袖志、竹野、小間） 施設延長L=771m （浅茂川90m、袖志286m、竹野275m、小間120m）			
主な財源	国補	農山漁村地域整備交付金（1/2）		7,500千円
	府補	農山漁村地域整備交付金（1/6）		2,500千円
成果・課題	○漁港海岸保全施設の現状を把握し最適な対策工の検討を行い、各施設の長寿命化と維持更新コストの縮減を図る計画を策定することができた。 ○機能保全計画に基づき、計画的に対策工を実施していく必要がある。			
所 管 課		農林水産部／海業水産課		

予 算 科 目	07商工費	01商工費	01商工総務費	02消費生活推進事業	
細 事 業 名	01 消費生活推進事業				決算書 P.118
総 合 計 画	計画項目	11 防犯・交通安全対策の推進			
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考)当初予算額	
5,841千円	5,961千円	120千円	97.9 %	5,961千円	
目 的	消費生活センターで、相談対応及び情報提供等を行うとともに消費生活学習グループの活動に対する支援を行うことにより、市民の消費生活の安定、向上を図る。				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○消費生活相談事業 5,581千円 消費生活センターに専門相談員を配置し、市民からの相談に対応するとともに、消費生活に関する情報の収集・提供を行った。 【開設場所】 寄り添い支援総合サポートセンター内 【相談時間】 午前9時～午後5時 【相談受付件数】 297件（販売購入：259件、事故：1件、その他：37件） 【出前講座実施回数】 32回 【消費生活セミナー開催】 第1回（6月）知って納得洗濯術・啓発漫才・消費生活寸劇（参加者51人） 第2回（12月）環境への取組み・お金のまもり方・消費生活寸劇（参加者62人） ・相談員報酬等（2人） 4,560千円 ・研修旅費等 507千円 ・消費生活セミナー等開催費用 109千円 ・啓発グッズ・チラシ作成費、参考図書・事務用品等購入費 57千円 ・電話、FAX料金等 126千円 ・公用車維持管理費（1台） 222千円 ○消費生活学習グループ活動費補助金 260千円 【会員数（平成31年3月31日現在）】 110人 峰山 26人 大宮 19人 網野 10人 丹後 17人 弥栄 19人 久美浜 19人 【活動内容】 ・イベント、老人会・街頭等での啓発活動（寸劇実施回数7回） ・消費生活学習会等の実施				
主 な 財 源	府補 消費者行政活性化事業費補助金（10/10、1/2）				3,156千円
成 果 ・ 課 題	○専門相談員が、市民からの消費生活相談に迅速かつ適切に対応することにより、消費者被害の防止と早期解決に寄与できた。 ○市民への情報提供や啓発物品の配布、消費生活学習グループの啓発活動等を通して、消費者被害を未然に防ぐとともに、消費トラブルに対する知識と意識を高めることができた。 ○教育部局や学校と連携して、子どもや若者への消費者教育を進めていく必要がある。				
所 管 課	健康長寿福祉部／生活福祉課				

予算科目	07商工費	01商工費	01商工総務費	50商工総務一般経費	
細事業名	01 商工総務一般経費				決算書 P.118
総合計画	計画項目	1 地域経済を担う商工業の振興			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
3,479千円	3,549千円	70千円	98.0 %	4,230千円	
目的	商工行政に係る業務を推進するために必要な経費及び公用車の維持管理経費				
主要な事務・事業の概要	○公用車維持管理経費（商工観光部管理台数：10台） 2,115千円				
	・燃料代 1,046千円				
	・車検代、修理代、保険料 1,059千円				
	・テレビ受信料 7千円				
	・ETCカード発行手数料等 3千円				
	○消耗品費（事務用品） 133千円				
	○産休等職員代替事務補助業務委託料 1,231千円				
	4月1日から9月30日までの間の、育児休暇取得職員の代替事務補助として、京丹後市総合サービス株式会社に委託し、1人の人材派遣を受けた。				
主な財源	諸収入	市有自動車損害共済金			63千円
成果・課題	○公用車の維持のため、メンテナンスや清掃などを的確に行い、また、育児休暇取得職員の事務補助代替派遣を受け、業務に支障なく取り組めた。 ○公用車の老朽化が進むなか、使用前後の点検等を徹底するなど、車両の長寿命化を図る必要がある。				
所管課		商工観光部／商工振興課			

予 算 科 目	07商工費	01商工費	02商工振興費	01商工会助成事業	
細 事 業 名	01 商工会助成事業				決算書 P.118
総 合 計 画	計 画 項 目	1 地域経済を担う商工業の振興			
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考) 当初予算額	
81,328千円	81,329千円	1千円	99.9 %	84,030千円	
目的	京丹後市商工会が実施する小規模事業者のニーズに対応した経営相談等の支援活動、地域活性化事業等に対して補助金を交付し、商工業の総合的な振興、発展を図る。				
主要な事務・事業の概要	○小規模事業経営支援事業補助金 67,646千円				
	経営相談、金融斡旋、巡回指導及び小売商業振興事業など地域に密着した活動や事業を支援することで、市内経済の発展に寄与した。				
	・ 経営改善普及指導事業分 62,500千円				
	(小規模事業者への経営指導、経営相談等の事業費及び指導職員の設置費)				
	・ 地域総合振興事業分 5,146千円				
	(販路開拓、小売商業活性化、特産品づくり活動等)				
	○織物指導等小規模生産基盤整備事業補助金 10,682千円				
	延べ1,958件の織物指導、織機調整事業と56件の小規模な生産基盤整備を支援し、織機の改良と機能を維持することで、丹後織物の技術の維持・継承と製品の品質確保を図った。				
	○地域活性化事業補助金 3,000千円				
	地域活性化を目的とした京丹後商工祭の開催を支援した。				
	イベント名	京丹後商工祭			
	補助対象者	京丹後市商工会			
	補助金額	3,000千円			
	補助対象経費	6,989千円			
	開催日	10月27日・28日			
	開催場所	丹後王国「食のみやこ」			
主な財源	国補 地方創生推進交付金 (1/2)				1,587千円
成果・課題	○商工会による小規模事業者への巡回指導や織物事業者への技術指導及び小規模生産基盤整備への支援により、事業者の経営安定化に寄与した。 ○産業PRイベントの開催を支援し、市内商工業の振興を図った。 ○小規模事業者の継続的発展による事業承継を進めるため、商工会による経営指導等の伴走支援が重要な役割を担っており、引き続き地域経済の活性化に向けて支援する必要がある。				
所 管 課		商工観光部／商工振興課			

予 算 科 目	07商工費	01商工費	02商工振興費	03経営支援事業																																				
細 事 業 名	01 金融支援事業			決算書 P.118																																				
総 合 計 画	計 画 項 目	1 地域経済を担う商工業の振興																																						
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率 (参考) 当初予算額																																				
43,644千円		43,656千円	12千円	99.9 % 63,600千円																																				
目的	市内事業者が運転資金や設備資金の借入時に負担した信用保証料及び利子に対する補助により、円滑な資金調達と借入の負担軽減を図り、経営の安定と成長促進を図る。																																							
主要な事務・事業の概要	○京丹後市商工業経営安定利子補給金 12,379千円																																							
	市内商工業者等が平成29年3月31日以前に「京都府中小企業融資制度」、「京丹後市商工業振興融資制度」及び政府系金融機関融資制度に基づき運転資金や設備資金を借り入れ、その返済にあたり負担した利子について、借入利率のうち1.7%を超える部分（平成27年度以前の借入）又は1.8%を超える部分（平成28年度の借入）で最大2.5%分、1事業者当たり年度内100万円を限度として補給した。																																							
	・ 交付決定事業者数 189事業者																																							
	・ 交付決定融資件数 266件																																							
	【内訳】																																							
	<table><tr><td>制度区分</td><td>件数（件）</td><td>金額（千円）</td></tr><tr><td>京都府あんしん借換融資制度</td><td>113</td><td>1,217</td></tr><tr><td>その他京都府融資制度</td><td>101</td><td>10,391</td></tr><tr><td>京丹後市商工業振興融資制度</td><td>5</td><td>21</td></tr><tr><td>政府系金融機関融資制度</td><td>47</td><td>750</td></tr></table>				制度区分	件数（件）	金額（千円）	京都府あんしん借換融資制度	113	1,217	その他京都府融資制度	101	10,391	京丹後市商工業振興融資制度	5	21	政府系金融機関融資制度	47	750																					
	制度区分	件数（件）	金額（千円）																																					
	京都府あんしん借換融資制度	113	1,217																																					
	その他京都府融資制度	101	10,391																																					
	京丹後市商工業振興融資制度	5	21																																					
政府系金融機関融資制度	47	750																																						
【過去の補給件数及び交付額】																																								
<table><tr><td>平成25年度</td><td>平成26年度</td><td>平成27年度</td><td>平成28年度</td><td>平成29年度</td></tr><tr><td>1,754件</td><td>1,362件</td><td>1,082件</td><td>768件</td><td>474件</td></tr><tr><td>72,268千円</td><td>52,654千円</td><td>48,706千円</td><td>38,295千円</td><td>24,936千円</td></tr></table>				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	1,754件	1,362件	1,082件	768件	474件	72,268千円	52,654千円	48,706千円	38,295千円	24,936千円																						
平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度																																				
1,754件	1,362件	1,082件	768件	474件																																				
72,268千円	52,654千円	48,706千円	38,295千円	24,936千円																																				
○京丹後市信用保証料補助金 30,854千円																																								
市内中小企業者が「京都府中小企業融資制度」、「京丹後市商工業振興融資制度」に基づき運転資金や設備資金を借り入れ、負担した信用保証料について、借入額に応じ補助金を交付した。市内経済の循環が全域に行き渡っていない情勢を考慮し、平成26年度から需要が高い規模の借り入れに対し補助率を引き上げ、平成29年度から京都府中小企業融資制度（一般資金）又は京丹後市商工業振興融資制度による融資の場合は特例補助率に5%上乗せ、設備資金のための融資は設備資金相当部分に5%上乗せした補助率（上乗せ最大10%）を適用し、さらなる投資の促進を図った。																																								
・ 交付決定件数：244件																																								
<table><tr><td>業種</td><td>建設業</td><td>製造業</td><td>卸売・小売業</td><td>飲食店・宿泊業</td><td>その他</td><td>合計</td></tr><tr><td rowspan="2">H30</td><td>件数(件)</td><td>49</td><td>62</td><td>50</td><td>39</td><td>44</td><td>244</td></tr><tr><td>交付額(千円)</td><td>7,254</td><td>8,537</td><td>5,642</td><td>5,357</td><td>4,064</td><td>30,854</td></tr><tr><td rowspan="2">(参考) H29</td><td>件数(件)</td><td>52</td><td>56</td><td>46</td><td>37</td><td>34</td><td>225</td></tr><tr><td>交付額(千円)</td><td>6,648</td><td>7,322</td><td>5,138</td><td>5,703</td><td>4,579</td><td>29,390</td></tr></table>				業種	建設業	製造業	卸売・小売業	飲食店・宿泊業	その他	合計	H30	件数(件)	49	62	50	39	44	244	交付額(千円)	7,254	8,537	5,642	5,357	4,064	30,854	(参考) H29	件数(件)	52	56	46	37	34	225	交付額(千円)	6,648	7,322	5,138	5,703	4,579	29,390
業種	建設業	製造業	卸売・小売業	飲食店・宿泊業	その他	合計																																		
H30	件数(件)	49	62	50	39	44	244																																	
	交付額(千円)	7,254	8,537	5,642	5,357	4,064	30,854																																	
(参考) H29	件数(件)	52	56	46	37	34	225																																	
	交付額(千円)	6,648	7,322	5,138	5,703	4,579	29,390																																	

予 算 科 目	07商工費	01商工費	02商工振興費	03経営支援事業
細 事 業 名	01 金融支援事業			決算書 P.118
総 合 計 画	計画項目	1 地域経済を担う商工業の振興		
主要な事務・事業の概要	・補助率			
	借入額		基本補助率	H30特例補助率
	100万円以内		80%	80%
	100万円超300万円以内		70%	70%
	300万円超500万円以内		60%	65%
	500万円超700万円以内		50%	60%
	700万円超1,000万円以内		40%	55%
	1,000万円超2,000万円以内		30%	40%
	2,000万円超		30% (2,000万円相当分)	30% (2,000万円相当分)
	○平成29年台風18号被災中小企業者等災害復旧融資支援補助金 213千円			
(1) 利子補給				
対象となる融資の「12回目までの支払利息の全額」及び「13回目から60回目までの支払利息の2分の1以内の額」を限度として補助した。				
交付件数		交付対象融資額（借換資金含）	補給金額	
3事業所		15,122千円	213千円	
○経営力向上企業支援利子補給金 198千円				
市内商工業者等が経営力向上計画の認定を受け、市内の金融機関又は政府系金融機関から設備資金を借り入れたとき、その返済にあたり負担した利子について、借入利率のうち0.1%分を1事業者当たり年度内20万円を限度に補給した。				
・交付決定件数：18件				
制度区分		件数（件）	金額（千円）	
京都府融資制度		3	2	
政府系金融機関融資制度		2	6	
民間金融機関融資制度		13	190	
主な財源	繰入金 ふるさと応援基金繰入金			20,000千円
成果・課題	○資金借入に伴う信用保証料や利子の負担軽減により、設備投資や運転資金の借入を行いやすくし、市内商工業者の経営の安定化と成長の促進につなげることができた。 ○経営力向上企業支援利子補給金の創設により、事業者等の経営力向上計画の認定を促進し、経営力の向上に資することができた。 ○低金利融資の状況にあるなか、地域の経済情勢等を見極めつつ、市内商工業者の資金調達を円滑にするため、必要に応じ効果的な支援の在り方を検討する必要がある。			
所 管 課	商工観光部／商工振興課			

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	02京丹後ブランド推進事業
細事業名	01 丹後地域地場産業振興センター運営費補助金			決算書 P.118
総合計画	計画項目	1 地域経済を担う商工業の振興		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
38,102千円	38,102千円	0千円	100.0 %	37,627千円
目的	丹後地域地場産業振興センターが行う地場産業の振興を図る各種事業や施設管理を支援することで、本市における地場産業の総合的な振興を図る。			
主要な事務・事業の概要	公益財団法人丹後地域地場産業振興センターが行う施設管理、丹後ブランド商品の販売、地場商品の販路拡大、新商品の開発、人材育成、情報の収集・提供、展示室の有効活用など地場産業の振興を図る各種事業の実施に対し、補助金を交付した。 ○公益財団法人丹後地域地場産業振興センター運営費補助金 32,475千円 【主な実施事業】 ●新商品・新技術開発事業 高機能急速冷凍装置導入による新サービス開発事業 延べ利用回数182回、実利用事業者数14事業者 ●人材育成事業 《手機教室》全2回 受講者4人 《きもの着付教室》全12回 受講者15人 《染色教室》染色基礎Ⅰ20回 受講者5人 染色基礎Ⅱ15回 受講者6人 ●需要開拓事業 ・Tango Good Goods認定事業及び販売促進事業 平成30年度認定数：42業者 84商品 ・「Tango Good Goods見本市」の開催：10/13～14 宮津市民体育館 来場者数 3,000人、小売店バイヤー等来場者数 28人、商談数 33件 ・各地域主催物産展、各種展示商談会・イベント等への出展 丹後のええもんうまいもん展（大阪 北千里22回、名古屋・東京 計12回） その他物産展出展（府内中心に、新潟県燕三条、香川県丸亀市等 計30回） ●地場产品展示普及支援事業 地場商品の常設展示販売（209業者、約2,600品目、年間売上41,254千円） ○公益財団法人丹後地域地場産業振興センター大規模改修補助金 5,627千円 非常用自家発電機取替え工事、食堂シルク天井漏水工事、多目的ホール漏水工事			
主な財源				
成果・課題	○同センターが物産展、展示商談会などに出展し、地場商品のPR及び販売促進を年間を通して実施したことにより、地場産業の一層の振興に寄与した。 ○同センターが創業相談窓口を設置するとともに人材育成事業を実施することにより、市内事業者の人材育成等を図ることができた。 ○施設の老朽化が進んでいるため、優先順位を定め、計画的に修繕していく必要がある。			
所管課	商工観光部／商工振興課			

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	03経営支援事業
細事業名	03 地域総合整備資金貸付事業			決算書 P.118
総合計画	計画項目	1 地域経済を担う商工業の振興		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
777千円	777千円	0千円	100.0 %	777千円
目的	一般財団法人地域総合整備財団の支援を得て、地方債を原資とした無利子融資を行った際の連帯保証料に対し支援し、事業の活性化と新たな雇用環境の整備促進を図る。			
主要な事務・事業の概要	○地域総合整備資金貸付連帯保証料補助金 777千円 地域総合整備資金を借り入れた民間事業者等が、連帯保証人へ支払った連帯保証料相当額を補助金として交付した。 ・補助対象 株式会社韋城製作所（H29年6月貸付実行分） ・補助対象期間 初回の連帯保証料の支払いから5年間 ・補助額 H30年度：777千円 ・補助限度額 初年度から合算した補助合計額が、償還完了までに支払う予定の連帯保証料合計額の1/3の額			
主な財源				
成果・課題	○地域振興に資する民間事業者の設備取得等に係る融資に関し、事業者が負担する当該融資の連帯保証料への支援を行うことで、経営の安定に寄与した。 ○設備投資等にかかる融資を検討する民間事業者等の把握に努め、地域振興に資する民間事業活動等への支援と経営安定を促進していく必要がある。			
所管課	商工観光部／商工振興課			

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	03経営支援事業
細事業名	02 商工業支援事業			決算書 P.118
総合計画	計画項目	1 地域経済を担う商工業の振興		
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額
34,117千円	39,432千円	5,315千円	86.5 %	37,525千円
目的	創業や空き店舗・空き工場の活用、また、新商品開発や販路開拓等の取組や製造・加工業における経営力向上のための設備投資を支援し、地域経済の活性化を図る。			
主要な事務・事業の概要	○創業等支援補助金 11,926千円 中小企業者等が行う創業や空き店舗の活用に関する15件の取組を支援			
	内訳	創業支援事業（創業時）	11件	7,926千円
	内訳	空き店舗・空き工場等活用促進事業（開業時）	4件	4,000千円
	○商工業支援補助金 3,199千円 中小企業者等が行う新商品・新製品開発等17件の取組を支援			
	内訳	新商品・新製品開発事業	1件	158千円
		国内外販路開拓促進事業	8件	1,919千円
		知的財産権取得支援事業	3件	535千円
		外国人観光客等受入れ環境整備事業	3件	457千円
		家賃補助（創業支援、空き店舗等活用促進事業）	2件	130千円
	○製造・加工業経営革新等推進事業補助金 18,526千円 織物業及び機械金属業等の製造・加工業の中小企業者等が行う生産設備の新增設や更新又は改良に対する支援 ・申請件数46件			
	内訳	織物業	38件	11,431千円
		機械金属業	5件	5,126千円
		その他製造業	3件	1,969千円
	○被災中小企業者等設備更新支援補助金 455千円 平成30年7月豪雨等により被災した中小企業者等に対し、被災した設備更新等経費の補助を行う商工会の事業を支援した。 ・補助対象経費 3,040 千円 ・補助金額（補助率15%） 455 千円 ・対象事業者 2 事業者			

予 算 科 目	07商工費	01商工費	02商工振興費	03経営支援事業
細 事 業 名	02 商工業支援事業			決算書 P.118
総 合 計 画	計画項目	1 地域経済を担う商工業の振興		
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○プレミアム付商品券発行事業 11千円			
	消費税率の引き上げが予定されている令和元年10月1日から、市内の商品券取扱登録店舗で使用できるプレミアム付商品券を、低所得者・子育て世代向けに発行するため、国からの補助金を受け取扱事業者募集等の準備を進めた。			
	・ 旅費等（旅費及び有料道路通行料） 11 千円			
		参考	繰越明許費を除いた最終予算額	34,645千円
			実質的な予算執行率	98.4 %

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	04企業立地推進事業	
細事業名	01 企業立地推進事業				決算書 P.118
総合計画	計画項目	1 地域経済を担う商工業の振興			
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額
27,847千円		31,297千円	3,450千円	88.9 %	25,525千円
目的	雇用の創出・拡大、地域産業への経済波及効果創出のため、市の事業用地や企業立地支援制度を広く周知し、テレワークも活用しながら市内外企業等の立地を支援する。				
主要な 事業の 概要	○企業訪問等立地推進活動 699千円 職員による企業・関連団体訪問に関する旅費及び展示商談会出展費用等 ○お試しサテライトオフィス事業 1,296千円 サテライトオフィス用建物賃借料 108,000円 ×12か月 ○京都市市町村企業誘致推進連絡会議分担金 80千円 「京都府工場・研究所用地案内」、「会員市町紹介パンフレット」の作成等 ○企業立地支援事業（市民の新規正規雇用者数21人） 22,993千円 事業所の新增設を行い、かつ正規雇用者を2人以上増加させた「指定事業所」（中小企業）に対して、企業立地助成金（新規地元常用雇用者一人につき上限100万円）及び企業立地奨励金（固定資産税納付相当額）を交付した。 ※指定事業所数（H30交付対象） 9事業所 ・企業立地助成金 交付件数：6件 20,390千円 ・企業立地奨励金 交付件数：8件 2,603千円 ○旧制度分（新規地元常用雇用者数8人） 2,779千円 京丹後市工場立地促進条例（旧制度）の経過措置により、「指定工場」に対して、工場新增設奨励金（固定資産税納付相当額）を交付した。 （経過措置は、平成30年度で終了） ・工場新增設奨励金 交付件数：2件 2,779千円				
主な 財源	府補 繰入金 諸収入	未来づくり交付金（企業立地推進事業） ふるさと応援基金繰入金 サテライトオフィス利用負担額			10,000千円 9,000千円 660千円
成果・ 課題	○指定事業所に企業立地助成金・奨励金を交付することにより、市内における事業所の新設及び増設を促進するとともに、雇用の拡大と経営の安定を図った。 ○引き続き、企業立地助成金や奨励金をはじめとする有利な制度のPRを行い、市内への企業立地活動を推進していく必要がある。				
所管課		商工観光部／商工振興課			

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	04企業立地推進事業			
細事業名	02 工業団地維持管理事業				決算書	P.118	
総合計画	計画項目	1 地域経済を担う商工業の振興					
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額		
886千円		967千円	81千円	91.6 %	1,173千円		
目的	市内工業団地の維持管理を行い、団地の環境美化に努めるとともに魅力的な立地環境を維持する。						
主要な 事業の 概要	○維持管理経費 886千円 市内5工業団地の法面の草刈り及び溝の清掃等を行った。						
	【維持管理経費の内訳】 (単位：千円)						
	団 地 名	面 積 (m ²)	光 熱 水 費 等	環 境 美 化 委 託 料	土 地 借 上 料	消 耗 品 費	計
	①赤坂工業団地（峰山）	63,121	50	778	—	—	828
	②清水工業団地（大宮）	28,151	—	—	—	—	—
	③大山工業団地（丹後）	32,962	—	41	3	—	44
	④谷工業団地（久美浜）	61,703	—	—	—	—	—
	⑤永留工業団地（久美浜）	41,489	—	—	—	—	—
	その他（共通経費）	—	—	—	—	14	14
	合計	227,426	50	819	3	14	886
①赤坂工業団地の「光熱水費等」は、入口看板照明電気料							
②大山工業団地の「土地借上料」は、下水道管敷設用地							
主な財源							
成果・課題	○市内5か所の工業団地の適切な維持管理及び環境美化に努めた。 ○いずれも合併前に建設された工業団地であり、繁茂した雑木や側溝・排水路の堆積物等を順次処理していく必要がある。						
所 管 課		商工観光部／商工振興課					

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	05繊維産業振興事業
細事業名	01 産地振興事業			決算書 P.118
総合計画	計画項目	1 地域経済を担う商工業の振興		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
6,593千円	6,668千円	75千円	98.8 %	7,996千円
目的	丹後ちりめん創業300年事業を関係機関と連携して実施するとともに、本市の和装関連イベントである「京丹後ちりめん祭」の開催を支援し、繊維産地の振興・発展を図る。			
主要な事務・事業の概要	○丹後ちりめん創業300年事業実行委員会負担金 3,742千円 総事業費18,000千円（負担金：丹後織物工業組合6,000千円、京都府6,000千円、京丹後市3,742千円、与謝野町2,107千円、宮津市131千円、伊根町20千円） 【主な事業】 ・首都圏展示商談会「Tango Fabric Marche」（商談177件、成約26件） ・学生コラボ事業（国内学生：4校12人、8事業者参画、海外学生：7校19人、4事業者参画） ・ロゴマーク活用事業（21事業所認定） ・丹後ちりめん創業300年PR事業（3団体） ○森田翁顕彰会負担金（森田翁慰霊祭（11月1日）の開催） 50千円 ○京丹後市きもの交流会補助金（総事業費：471千円） 293千円 【主な事業】 ・繭グッズ制作 ・京丹後ちりめん祭・坂東玉三郎特別舞踏公演・丹後きものまつりへの参画 ○京丹後ちりめん祭補助金（総事業費：3,269千円） 1,880千円 【概要】 ・開催日・場所：4月14日～15日 網野体育センター、アミティ丹後、網野神社 ・主な内容：呉服販売、ステージショー、利き酒会、きものでお食事会 ○全国和装産地市町村協議会関連経費 450千円 （職員旅費429千円、使用料11千円、負担金10千円） ・総会（7月20日：京都市）の開催、産地視察（9月6日：京丹後市）、シルクのまちづくり市区町村協議会との連名で国への要望活動 ※会員数：15団体 ○シルクのまちづくり市区町村協議会関連経費（職員旅費178千円） 178千円 ・幹事会2回（東京都内）、総会及びシルクフォーラム（山形県鶴岡市）、国への要望活動（上記に同じ） ※会員数：32団体			
主な財源	国補 地方創生推進交付金（1/2） 1,871千円 府補 未来づくり交付金（産地振興事業） 900千円			
成果・課題	○丹後ちりめん創業300年事業実行委員会事務局に専任の職員を置くことにより関係機関との調整や連携を図り、効果的に国内外への魅力発信・販路開拓に取り組めた。 ○京丹後市きもの交流会及び京丹後ちりめん祭を通じて、丹後ちりめんのPR及び和装産業の振興に寄与した。 ○令和2年の丹後ちりめん創業300年の節目に向け、一層の魅力発信、販路開拓を促進していく必要がある。			
所管課	商工観光部／商工振興課			

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	05繊維産業振興事業
細事業名	03 新シルク産業創造事業			決算書 P.118
総合計画	計画項目	1 地域経済を担う商工業の振興		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
25,516千円	25,680千円	164千円	99.3 %	27,629千円
目的	地域再生計画に基づく新シルク産業創造に向けた取組を行うことにより、地域産業の基盤強化や成長を促し、雇用の創出・拡大を図る。			
主要な事務・事業の概要	新シルク産業創造館（旧溝谷小学校）において、無菌周年養蚕及び高機能性シルクに関する基礎研究を、平成29年度に引き続き京都工芸繊維大学に委託して実施した。 ○基礎研究の推進費 20,944千円 ・新シルク産業創造事業運営業務委託料 19,699千円 （人件費、人工飼料等資材類、新シルク産業創造館の光熱水費等） ・研究の過程で生産された繭の製糸手数料 1,016千円 ・生糸の性状検査手数料 49千円 ・製糸工程の映像化業務委託料 130千円 ・繭の製糸工場への運搬費用 50千円 ○新シルク産業創造館の施設管理費 4,182千円 ・クリーンルーム加湿器定期メンテナンス 2,394千円 ・クリーンルーム空調室外機メンテナンス 378千円 ・施設管理業務委託料 673千円 （施設警備、消防設備点検、電気設備保守、雑木伐採） ・公用車関連経費（燃料費、車検費用等） 330千円 ・施設管理用消耗品類及び施設小修繕 190千円 ・火災保険料 29千円 ・電話代 78千円 ・備品類移設費用（信州大学繊維学部→京丹後市） 110千円 ○出張旅費等 390千円 ・旅費及び費用弁償 362千円 ・高速道路通行料 28千円			
主な財源	国補 地方創生推進交付金（1/2） 12,310千円			
成果・課題	○新シルク産業創造館の飼育可能上限である1サイクル20万頭の飼育に係る実証実験を行い、おおむね良好な結果が得られるなど、無菌周年養蚕に関する手法の確立に近づくとともに、収穫された繭及びこれまで生産してきた繭を製糸し、約62kgの生糸を生産した。 ○基礎研究に関しては一定の成果が得られたことから、この技術を活用した民間ベースでのビジネスに繋げるため、民間事業者が新シルク産業創造館を拠点として事業に参画できるような仕組みづくりを進める必要がある。			
所管課	商工観光部／商工振興課			

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	06機械金属業振興事業	
細事業名	01 機械金属業振興事業				決算書 P.118
総合計画	計画項目	1 地域経済を担う商工業の振興			
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
5,712千円		5,769千円	57千円	99.0 %	5,794千円
目的	機械金属関連事業者の販路開拓、新分野のビジネス展開など、丹後機械工業協同組合の活動を支援し、基盤産業である機械金属業界全体の成長・発展を図る。				
主要な事務・事業の概要	○機械金属業販路開拓等事業費補助金 5,500千円 実施主体 : 丹後機械工業協同組合 補助率 : 3分の2以内 事業内容 : ・新分野・ビジネス開拓推進事業 関西機械技術要素展(大阪・10月)、ものづくりマッチングJapan(東京・10月)、メッセナゴヤ(名古屋・11月)、京都ビジネス交流フェア(京都・2月)に出展 ・イノベーション・未来創造研究事業 イノベーション・未来創造研究セミナーを3回(7月・11月・2月)開催 ○職員旅費 212千円 展示商談会への職員参加経費 (職員旅費、有料道路通行料、駐車場使用料)				
主な財源	国補 地方創生推進交付金(1/2)				2,750千円
成果・課題	○三大都市圏での展示商談会への出展を支援し、産地ブランドのPR及び機械金属業の事業分野の拡大に寄与した。 ○セミナーの開催により、中小企業が生き残っていく術や丹後の機械金属業界の将来像を考える機会を支援することができた。 ○技術シーズ不足、人材不足などの課題があるが、業界の成長・発展を図るために、引き続き新規顧客の獲得や成長産業分野への進出を支援していく必要がある。				
所管課		商工観光部/商工振興課			

予 算 科 目	07商工費	01商工費	02商工振興費	09人材育成事業		
細 事 業 名	01 人材育成事業				決算書	P.118
総 合 計 画	計画項目	1 地域経済を担う商工業の振興				
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考)当初予算額
6,933千円		6,933千円		0千円	100.0 %	7,583千円
目的	丹後・知恵のものづくりパーク（北部産業活性化拠点・京丹後）の研修事業の実施及び施設の管理運営費等の一部を負担し、事業の円滑な実施と適切な施設運営を促す。					
主要な事務・事業の概要	公益財団法人 京都産業21が府内の福知山市、綾部市以北を対象に「丹後・知恵のものづくりパーク」を拠点として北部支援センターを設置し、「北部産業活性化活動拠点・京丹後」管理運営事業及び人材育成研修事業を実施するための負担金を交付することで、市内産業の活性化と「ものづくり産業」の人材育成を図った。 ○「丹後・知恵のものづくりパーク」管理運営・人材育成研修事業 6,933 千円 ・管理運営事業負担金 6,433 千円 ・人材育成研修事業負担金 500 千円 女性リーダー育成セミナー (4回開催 延べ受講者数：66人) 営業力強化セミナー (3回開催 延べ受講者数：48人)					
主な財源						
成果・課題	○「丹後・知恵のものづくりパーク」の適切な管理運営や、府内北部の中小企業等への経営・技術等の総合支援、さらには、ものづくり人材育成研修など、各種ものづくり産業の振興に資する事業等の費用を負担することで、市内産業の活性化を図った。 ○市内産業の活性化を図るため、引き続き事業費を負担し、「丹後・知恵のものづくりパーク」の維持及び各種人材育成研修の実施を継続させる必要がある。					
所 管 課		商工観光部／商工振興課				

予 算 科 目	07商工費	01商工費	02商工振興費	10商工業総合振興事業
細 事 業 名	02 中京圏等新市場開拓推進事業			決算書 P.118
総 合 計 画	計 画 項 目	1 地域経済を担う商工業の振興		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額
597千円	782千円	185千円	76.3 %	972千円
目 的	舞鶴市等と連携して名古屋市内で開催される異業種交流展示会及び若者就職面接会に共同出展し、共通課題である企業誘致、U・Iターン人材確保等に関し相乗効果を図る。			
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○舞鶴市、福知山市との合同出展事業 597千円 丹後機械工業協同組合及び市内6社と共に、舞鶴市や福知山市と連携し、両市に共通している企業誘致、U・Iターン人材確保、観光誘客等といった課題に対応するため、「第13回メッセナゴヤ2018」に共同出展し、異業種交流展示会及び若者との面談を行った。 ※開催日：平成30年11月7日～10日 開催場所：ポートメッセなごや 出展企業等：1,437社 延べ来場者数：61,952人（4日間） 当市ブース：面談学生：4人 名刺交換数：31社 ・展示会等出展資材借上料 267千円 ・消耗品費（ノベルティ等） 176千円 ・職員旅費等（旅費、有料道路使用料） 154千円			
主 な 財 源	府補 未来づくり交付金（異業種交流展示会合同出展事業） 126千円			
成 果 ・ 課 題	○第13回メッセナゴヤ2018において、舞鶴市、福知山市と連携し、京丹後大宮IC開通に伴う交通利便性の向上と観光資源のPR、森本工業団地の紹介などの情報を発信することができた。 ○名古屋事務所の閉鎖に伴い、これまで事務所を通じて築いてきた企業等との関係維持と、丹後機械工業協同組合と連携した販路開拓に引き続き取り組む必要がある。			
所 管 課	商工観光部／商工振興課			

予 算 科 目	07商工費	01商工費	02商工振興費	50商工振興一般経費
細 事 業 名	01 商工振興一般経費			決算書 P.120
総 合 計 画	計 画 項 目	1 地域経済を担う商工業の振興		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額
579千円	589千円	10千円	98.3 %	533千円
目 的	商工業振興に関する事務事業等を行うために必要な経費			
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○出張旅費（職員旅費、有料道路通行料、駐車場使用料等） 525千円 ○事務費等（新聞購読料、表彰用賞状作成費） 54千円			
主 な 財 源				
成 果 ・ 課 題	商工振興に関する事務事業等を円滑に行うことができた。			
所 管 課	商工観光部／商工振興課			

予算科目	07商工費	01商工費	03商工施設費	01峰山織物センター管理運営事業		
細事業名	01 峰山織物センター管理運営事業				決算書	P.120
総合計画	計画項目	1 地域経済を担う商工業の振興				
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額		
3,800千円	3,958千円	158千円	96.0%	4,279千円		
目的	織物業の振興及び住民福祉の増進のため、峰山織物センターを管理運営し、広く市民の利用に供する。					
主要な事務・事業の概要	市民に安全で快適に施設を利用いただくため、効率的で適切な管理運営を行った。					
	○延べ利用人数 9,668人 (延べ利用件数：723件)					
	【利用目的別利用件数】 (単位：件)					
	会議	研修	教室	サークル活動	ｽﾎﾟｰﾂ・ｸﾘｰﾅｰｼｮﾝ	合計
	111	38	161	216	197	723
	【部屋別利用件数】 (単位：件)					
	大会議室	小会議室	教養室	第1・2研修室	合計	
	364	113	28	251	756	
	※1回で複数の部屋の利用があるため合計件数が異なる					
	○管理運営経費 3,800千円					
主な財源	使用料	公有財産使用料	161千円			
	使用料	峰山織物センター使用料	142千円			
成果・課題	○職業訓練、教室・サークル活動を行う施設として多くの利用があり、活動拠点として各種活動の推進に寄与した。 ○施設の老朽化が進んでおり、今後は施設、設備ともに修繕費や更新費用が増加することが見込まれる。					
所管課		商工観光部／商工振興課				

予算科目	07商工費	01商工費	03商工施設費	02商工施設指定管理運営事業		
細事業名	01 指定管理施設運営事業				決算書	P.120
総合計画	計画項目	1 地域経済を担う商工業の振興				
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額	
4,080千円		4,091千円	11千円	99.7%	4,091千円	
目的	市内の商工関連施設の適正な管理運営を行うことで、施設利用者の利便性の向上及び商工業の振興を図る。					
主要な事務・事業の概要	大宮織物ホール、丹後商業活性化センター及び弥栄機業センターの各施設について、京丹後市商工会を指定管理者として管理運営を行った。 (単位：千円)					
	区分	大宮織物ホール	丹後商業活性化センター	弥栄機業センター	計	
	所在	大宮町	丹後町	弥栄町	-	
	利用者数(人)	5,897	- (貸館業務なし)	2,935	8,832	
	指定管理料	2,730	-	-	2,730	
	火災保険料	9 (公有建物共済分担金)	45 (公有建物共済分担金)	4 (公有建物共済分担金)	58	
	土地借上料	1,292 (建物及び駐車場用地)	-	-	1,292	
	合計	4,031	45	4	4,080	
	※丹後商業活性化センターについては、平成30年度末に廃止					
	主な財源	使用料	公有財産使用料			
諸収入		大宮織物ホール電気料				229千円
成果・課題	○市内商工関連公共用施設の管理運営を指定管理者として京丹後市商工会が行うことで、施設利用者の各種活動の推進に寄与した。					
	○各施設の老朽化が顕著となっており、今後も引き続き施設を利用するためには、修繕費が増加することが見込まれる。					
所管課		商工観光部／商工振興課				

予算科目	07商工費	01商工費	03商工施設費	50商工施設一般経費		
細事業名	01 商工施設一般経費				決算書	P.120
総合計画	計画項目	1 地域経済を担う商工業の振興				
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
2,270千円		2,294千円	24千円	98.9 %	864千円	
目的	商工業の振興に資する商工関連施設の維持管理を行う。					
主要な 事業・ 事業の 概要	○商工施設維持管理経費					2,270千円
	【需用費】					23 千円
	・ 消耗品					15千円
	・ 御旅市場商店街駐車場外灯電気代（旧小谷医院跡地）					6千円
	・ あしぎぬ苑 水道料					2千円
	【修繕料】					97 千円
	・ 旧三津小学校ドア修繕					65千円
	・ 旧三津小学校屋上修繕（シーリング作業）					30千円
	・ 京都工芸繊維大学京丹後キャンパス水道管修繕料					2千円
	【委託料】					747 千円
・ 丹後商業活性化センター裏公衆トイレ管理委託料					466千円	
・ 旧三津小学校消火設備設置届申請業務委託料					151千円	
・ 旧三津小学校変圧器PCB分析検査代					78千円	
・ あしぎぬ苑清掃作業委託業務料					52千円	
【工事請負費】					1,367 千円	
・ 御旅商店街駐車場ブロック塀撤去等工事					842千円	
・ 京都工芸繊維大学京丹後キャンパスブロック塀撤去等工事					525千円	
【その他】					36 千円	
・ 旧三津小学校公有建物災害共済保険料					28千円	
・ 弥栄機業センター（指定管理部分除く）電気代等負担金					6千円	
・ あしぎぬ苑 水道開閉栓手数料					2千円	
主な 財源	府補	未来づくり交付金（ブロック塀撤去事業）				500千円
	財産収入	土地建物貸付収入				251千円
	諸収入	弥栄機業センター光熱水費負担金				6千円
	諸収入	旧三津小学校火災保険料企業負担金				28千円
成果・ 課題	○商工業、織物業の振興を目的とした商工関連施設を適切に管理することができた。 ○建築基準を満たしていない施設敷地内のブロック塀を撤去し、施設内及び施設周辺の安全確保を図ることができた。 ○京都工芸繊維大学京丹後キャンパスの老朽化に伴い、修繕費が増加することが見込まれる。					
所管課		商工観光部／商工振興課				

予 算 科 目	07商工費	01商工費	03商工施設費	50商工施設一般経費		
細 事 業 名	01 商工施設一般経費（繰越）				決算書	P.120
総 合 計 画	計画項目	1 地域経済を担う商工業の振興				
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考) 当初予算額	
3,779千円		5,697千円	1,918千円	66.3 %	5,697千円	
目 的	商工業の振興に資する商工関連施設の維持管理を行う。					
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	旧三津小学校に設置する合併処理浄化槽に、生活雑排水を接続するために必要な配管工事を実施した。					
	○旧三津小学校衛生施設配管改修工事等				3,779 千円	
	・設計委託料				840 千円	
	・工事請負費				2,669 千円	
	・浄化槽設置分担金				270 千円	
主 な 財 源						
成 果 ・ 課 題	縫製工場として貸し出す旧三津小学校の利便性を向上させ、工場としての機能向上を図ることができた。					
所 管 課		商工観光部／商工振興課				

予算科目	07商工費	01商工費	04観光振興費	01“旬”でもてなす食の観光推進事業
細事業名	01 “旬”でもてなす食の観光推進事業			決算書 P.120
総合計画	計画項目	4 滞在型観光・スポーツ観光の促進		
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額
16,158千円	16,220千円	62千円	99.6 %	17,539千円
目的	京丹後ならではの旬の食材や料理、地域の食生活、食文化、体験などを観光客に提供することで、「食」を活かした観光誘客を推進し地域産業活性化を図る。			
主要な事務・事業の概要	○“旬”でもてなす食の観光地づくり人材養成事業【観光振興課・商工振興課】 ※「韓哲・まちづくり夢基金」活用事業 3,462千円 料理技術の向上や観光関連事業者の「食のまち」推進の気運醸成、レシピ共有化等につなげるため、「海外先進地への視察研修」及び京丹後市商工会が実施する「食のおもてなし提供力向上セミナー」の開催を支援した。 ●「海外視察研修」…期間：平成30年10月9日～14日（現地3日間） 研修先：サン・セバスティアン市 ●「食のおもてなし提供力向上セミナー」…日程：平成31年3月13日 （研修報告・たんちよす発表会として、丹後王国「食のみやこ」で開催） ・サン・セバスティアン（スペイン）視察研修補助金 1,666千円 料理人、加工事業者等のグループ（5人分、補助率2/3） ・視察同行職員等旅費（旅費、費用弁償等（3人分）） 1,500千円 ・食のおもてなし提供力向上セミナー開催補助金 296千円 ○京丹後フードトレイル創造事業【観光振興課】 1,593千円 ※「韓哲・まちづくり夢基金」活用事業 本市の豊富な果樹を活かした新たな観光資源を創造するため、国道178号沿いの久美浜町内の3店舗の直売所の店先で、旬のフルーツを使ったジュースやパフェなどを提供する「フードトレイル（フルーツトレイル）」を実施した。 実施グループ：地元の生産者、加工事業者等 実施期間：平成30年7月28日～10月31日 ・京丹後フルーツトレイル開催補助金（補助率2/3） 1,500千円 ・フードトレイルアドバイザー謝金（3回） 93千円			

予 算 科 目	07商工費	01商工費	04観光振興費	01 “旬”でもてなす食の観光推進事業
細 事 業 名	01 “旬”でもてなす食の観光推進事業			決算書 P.120
総 合 計 画	計 画 項 目	4 滞在型観光・スポーツ観光の促進		
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○食の魅力発信事業【観光振興課・商工振興課】			4,993千円
	本市の「食」の魅力を広く発信するために、京丹後市商工会の海外食材アピール商談会への出展（日時：10月16日～18日 場所：シンハーコンプレックス及びアテネホテル）を支援したほか、観光大使・太川陽介氏出演の京丹後食材等PR動画の作成及び美食観光のまちづくりワークショップを開催した。			
	・海外食材アピール商談会への出展支援			4,270千円
	京丹後の食材アピール商談会inバンコク開催補助金			3,994千円
	職員旅費			276千円
	・“旬の京丹後”プロモーションの実施			686千円
	市観光大使の太川陽介氏が京丹後産品をPRする動画（3本）を作成。			
	観光大使出演謝金			360千円
	撮影委託料			162千円
	食材費			6千円
旅費等			158千円	
・美食観光のまちづくりワークショップ開催（講師謝金）			27千円	
実施日：平成30年12月19日				
・その他経費（旅費等）			10千円	
○“旬の京丹後”イメージ啓発・普及事業【観光振興課】			721千円	
・啓発のぼり旗作成（300枚）			300千円	
・啓発看板表示張替え			421千円	
デザイン委託料、片面×季節ごと4回（2基分）、土地借上料（1基分）				
○“旬”でもてなす食のまちPRコンテンツ制作事業【観光振興課】			5,389千円	
四季を通じた「“旬”でもてなす食のまち」PR用コンテンツとして、食材及び収穫体験等を紹介する動画の制作と写真の撮影を行った。				
・動画…総合長編、短編、季節ごとの長編、短編等計12本				
・写真…100枚				
主 な 財 源	府補	未来づくり交付金（“旬”でもてなす食の観光推進事業）		4,038千円
	繰入金	韓哲・まちづくり夢基金繰入金		5,055千円
成 果 ・ 課 題	○海外研修及びその報告会等の実施や「たんちよす」等のメディアへの露出により、料理人等食の関係者の気運を高め、内外に対し「食のまち」をPRできた。 ○フルーツトレイルにより、果樹農家の生産・販売意欲の増進と、「フルーツの産地」であることのPRにつながった。 ○「食のまち」推進のさらなる気運醸成とPR強化のために、「食」の関連事業者のすそ野を広げるとともに、相互連携を深めていく必要がある。			
所 管 課		商工観光部／観光振興課、商工振興課		

予 算 科 目	07商工費	01商工費	04観光振興費	02ｼﾞｵﾊﾟｰｸ・体験滞在型観光推進事業
細 事 業 名	01 ｺﾈｽｺ世界ｼﾞｵﾊﾟｰｸ推進事業			決算書 P.120
総合計画	計画項目	4 滞在型観光・スポーツ観光の促進		
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額
9,786千円	9,948千円	162千円	98.3 %	10,728千円
目的	山陰海岸ユネスコ世界ジオパークの貴重な地質遺産を保護保全するとともに、小学生の理科体験活動や「ジオツーリズム」等、教育や産業振興への活用を図る。			
主要な 事務・事業の 概要	○市ジオパーク情報センター（拠点施設）、ジオサイト等の整備及び管理運営 6,182千円 ・情報センター（道の駅てんきてんき丹後内）運営管理 3,203千円 ・情報センター改修（照明、展示コーナー・展示板の改修） 851千円 ・ジオサイト看板移設（大成古墳群、立岩看板修繕） 90千円 ・ジオサイト保全管理（海岸清掃ゴミ回収、草刈委託） 1,620千円 ・市ジオパーク情報センター電気代負担金 412千円 ・市ジオパーク情報センター備品購入 6千円 ○山陰海岸ユネスコ世界ジオパーク普及啓発等 643千円 ・ガイド委託料（1回） 12千円 ・パンフレット印刷（4種類）、缶バッジ資材等 473千円 ・府県市町連携会議及び研修会参加旅費等 158千円 ○ガイド養成 333千円 ・ガイド養成講座開催（講師謝金等、5回）、ジオパーク全国大会参加（北海道様似町、参加2人・随行1人）、ガイド交流会参加（鳥取市、参加12人・随行1人） ○ジオパーク専門員派遣謝金（5回） 69千円 ○山陰海岸ジオパーク推進協議会負担金 2,559千円 ※平成30年度はユネスコ世界ジオパークの再審査があり、4年間の再認定を受けた。			
主な 財源	府補 繰入金	ｼﾞｵﾊﾟｰｸ推進事業補助金（1/2） 地域振興基金繰入金		1,000千円 5,000千円
成果・ 課題	○平成30年8月に行われたグローバルジオパークネットワークの再認定審査の結果は、「山陰海岸ユネスコ世界ジオパーク」として、4年間の再認定（グリーンカード）であった。 ○世界から認められた評価を最大限に活かし、各府県市町との連携及び市民の理解のもと、「保全」のみならず「活用」へ発展させていく必要がある。			
所 管 課	商工観光部／観光振興課			

予 算 科 目	07商工費	01商工費	04観光振興費	02ｼﾞｵﾊﾟｰｸ・体験滞在型観光推進事業
細 事 業 名	02 滞在型観光地づくり推進事業			決算書 P.120
総合計画	計画項目	4 滞在型観光・スポーツ観光の促進		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考)当初予算額
1,729千円	1,898千円	169千円	91.0 %	1,898千円
目 的	本市の豊かな観光資源を活かした普地型・体験型観光の推進と、地域資源、特色を活かした観光基盤の整備により、通年型で滞在型の観光地づくりを図る。			
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○ほんまもん体験推進事業 67千円 “ほんまもん体験”アドバイザーとともに、丹後ちりめんに関するコンテンツ（織元、問屋、ハンカチ染め・こま猫絵付け体験）視察ツアーを実施した。 〔実施日〕 11月1日 〔参加者〕 12人（市内の宿泊施設、観光関連団体の関係者） ・アドバイザー謝金（1人） 53千円 ・バス運転委託料、バス燃料代 14千円 ○「海の京都」推進事業補助金 1,500千円 「『海の京都』京丹後市マスタープラン」に基づき、「海の京都」京丹後市実践会議が実施する事業を支援した。 （主な事業） ・宿泊促進プロモーション「“旬の逸品”宿泊キャンペーン」の実施 参画者：宿泊事業者36施設、無料クーポン提供事業者15店舗 ・体験観光PR用動画他製作 製作数：11本 ・企画列車モニターツアー 実施日：10月14日 参加者26人：一般モニター16人、旅行会社10人 ○かぶと山園地山頂展望台誘導看板設置等 112千円 設置（1か所）、改修（2か所） ○（一社）ウォーターフロント協会会費 50千円			
主 な 財 源				
成 果 ・ 課 題	○『海の京都』京丹後市マスタープランに基づき、宿泊客増加キャンペーン、体験ツアーなどを実施し、体験・滞在型の観光地としての魅力づくりに寄与した。 ○観光地としての知名度を向上させ、誘客促進と観光消費の増加につなげるためには、第3次観光振興計画（マスタープランを包含）に基づき、滞在型・通年型の観光コンテンツづくりとプロモーションを展開していく必要がある。			
所 管 課	商工観光部／観光振興課			

予算科目	07商工費	01商工費	04観光振興費	02その他・体験滞在型観光推進事業
細事業名	03 日本一の砂浜海岸づくり推進事業			決算書 P.120
総合計画	計画項目	4 滞在型観光・スポーツ観光の促進		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
1,954千円	2,021千円	67千円	96.6 %	5,199千円
目的	山陰海岸ユネスコ世界ジオパークを構成する京丹後の美しい砂浜海岸を保全し、一年を通じてにぎわう日本一の砂浜海岸づくりを推進する。			
主要な事務・事業の概要	○砂浜海岸の保全事業 1,954千円 - 海水浴場清掃美化業務委託（海岸漂着物回収処理業務） 861千円 蒲井東海岸、琴引浜、後ヶ浜海岸、上野平海岸（平側） - 遊歩道堆積砂撤去委託料（委託先：小天桥観光協会） 324千円 小天桥箱石海岸遊歩道に堆積する砂及び雑草等の除去 - ビーチ斉クリーン作戦（浜詰～葛野海岸） 769千円 重機等借上料 35千円 消耗品費、印刷製本費、バス運転委託料等 495千円 海岸漂着物撤去業務委託料 239千円 実施日：6月17日（日） 参加者数：約400人 「旬のパスポート」協賛店23店舗、利用者85人（消費額46千円） ※「旬のパスポート」とは、ビーチ斉クリーン作戦の趣旨に賛同する市内協賛店（飲食店、温泉、土産物販売店等）で使える特典付きクーポン券。ビーチ斉クリーン作戦参加者へ配付したものの。			
主な財源	府補 未来づくり交付金（日本一の砂浜海岸づくり推進事業） 400千円 府補 海岸漂着物地域対策推進事業補助金（10/10） 700千円			
成果・課題	○ビーチ斉クリーン作戦により、多くの市民、企業等ボランティアが、海岸漂着物の実態を知り、保全意識を高揚させる契機となった。また、旬のパスポートへの協賛により、多くの市内飲食店、温泉等が本事業に参画し、保全意識が広がった。 ○内陸からの漂着物も多いという実態に鑑み、広く市民等に対し、継続的な啓発を行う必要がある。			
所管課	商工観光部／観光振興課			

予算科目	07商工費	01商工費	04観光振興費	03インバウンド・宿泊促進強化事業
細事業名	01 インバウンド・宿泊促進強化事業			決算書 P.120
総合計画	計画項目	4 滞在型観光・スポーツ観光の促進		
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額
2,602千円		2,609千円	7千円	99.7 % 2,555千円
目的	外国人旅行者、宿泊客等の誘致に向けたプロモーションを行うとともに、スポーツ大会等の主催団体に対し補助金を交付することで市内宿泊客の増加を図る。			
主要な事務・事業の概要	○観光業等活性化推進事業補助金 1,700千円 地域経済への波及、地域文化の振興、まちの活性化及び交流人口の拡大に寄与する各種大会を主催又は主管する団体に対し補助金を交付する。 ・交付件数：11件（100千円×10件、700千円×1件） ○国民保養温泉地協議会負担金 45千円 ○シンガポール宿泊誘致・観光PR事業 857千円 海の京都DMOと豊岡DMOと連携し、市内宿泊業者とともにシンガポールで開催された旅行博「NATAS」に出展することで、個人旅行者向けのPRを行うとともに、現地旅行会社（5社）へセールスコールを行い、本市への個人及び団体等の外国人観光客の誘客を図った。 実施日：平成31年2月20日から22日 ・職員旅費 ・PR用パンフレット印刷費 ・パンフレット郵送料 ・消耗品費			
主な財源	府補 未来づくり交付金（インバウンド・宿泊促進強化事業）			800千円
成果・課題	○海の京都DMOや豊岡市、京都府、兵庫県等が組織する「Visit Northern Kansai」と連携し、シンガポールでの海外旅行博等への出展及びセールスコールを実施したことにより、本市の多様な魅力のPRと誘客活動を行うことができた。 ○今後も、海の京都DMO、豊岡DMOと連携し、ターゲット国を絞り込んだ効果的なインバウンド施策を実施する必要がある。			
所管課		商工観光部／観光振興課		

予算科目		07商工費	01商工費	04観光振興費	03ｲﾝﾌﾗ・宿泊促進強化事業		
細事業名		02 観光ｲﾝﾌﾗ整備等促進事業				決算書	P.120
総合計画		計画項目	4 滞在型観光・スポーツ観光の促進				
決算額 ①		最終予算額 ②		不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
28,555千円		28,555千円		0千円	100.0 %	30,000千円	
目的 観光の魅力づくりに寄与するインフラ整備等の事業に対して補助金を交付し、本市の自然や温泉等豊かな資源を活かした個性ある観光地づくりを推進する。							
主要な事務・事業の概要	○観光インフラ整備等促進事業補助金					28,555千円	
	(単位：千円)						
	事業区分	No	事業名			事業費	補助金
	温泉源・配湯施設改修等事業	1	桜尾温泉／配管敷設事業（旧魅力づくり補助金）			28,189	5,000
		2	浜詰温泉／配水ポンプ取替工事			2,102	1,751
		3	夕日ヶ浦温泉／送湯ポンプ等改修工事			1,301	1,084
		4	浅茂川浦島温泉／送湯ポンプ等取替工事			6,113	5,000
		5	上野温泉／泉源改修工事			446	371
		6	丹後神野温泉／送水ポンプ整備事業			962	801
		7	鴻の鶴温泉／送湯ポンプ取替工事			562	468
	砂浜清掃用機械購入等事業	8	砂方区／砂浜清掃用機械購入事業			650	541
	温泉施設等整備事業	9	有限会社炭平旅館／訪日外国人への誘客力高い温泉施設の増築			93,887	5,000
		10	浜の路臨江庵／温泉付き海辺の離れ新設事業			13,779	6,378
	誘客ｼｬﾝ整備事業	11	夕日ヶ浦温泉／誘客看板取替工事			684	316
	その他事業	12	浜詰区／「浜詰 夕日の丘」計画			2,214	1,845
計（12件）					150,889	28,555	
主な財源	繰入金 観光ｲﾝﾌﾗ整備等促進実行調整費基金繰入金					28,555千円	
	成果・課題 ○温泉源の維持管理や宿泊温泉施設の機能向上等、事業者等の設備投資を支援し、魅力ある観光地づくりに寄与することができた。 ○要綱改正により、補助金交付上の透明性向上及び迅速化を図ることができた。 ○引き続き、観光インフラ整備等促進実行調整費基金を適正に管理・運用し、事業者等に本補助制度を活用していただくことで、一層魅力ある観光地づくりを進めていく必要がある。						
所管課		商工観光部／観光振興課					

予算科目	07商工費	01商工費	04観光振興費	04ｼﾞｵｽﾎﾟｰﾂ観光推進事業
細事業名	03 海水浴場連絡員配置等支援事業			決算書 P.120
総合計画	計画項目	4 滞在型観光・スポーツ観光の促進		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
10,761千円	10,881千円	120千円	98.8 %	16,700千円
目的	海水浴場の開設者が実施する連絡員の配置、AED等の配備及び関係機関との連絡調整等水難事故防止対策に対して支援を行い、夏季海水浴による誘客を促進する。			
主要な事務・事業の概要	○海水浴場開設者支援事業補助金 10,221千円			
	開設期間	開設者	海水浴場名	事業費 補助金
	7.14～8.16	蒲井区	蒲井浜海水浴場	644千円 576千円
	7.14～8.19	小天橋	小天橋・葛野浜海水浴場	2,405千円 2,274千円
	7.14～8.19	観光協会	箱石浜海水浴場	
	7.14～8.19	浜詰区	浜詰夕日ヶ浦海水浴場	1,508千円 1,113千円
	7.14～8.19	(株)技研サービス	八丁浜海水浴場	724千円 573千円
	7.14～8.19	小浜観光協会	小浜海水浴場	588千円 517千円
	7.7～8.26	掛津区	琴引浜掛津海水浴場	6,357千円 572千円
	7.14～8.19	遊区	琴引浜遊海水浴場	1,233千円 611千円
	7.14～8.19	砂方区	砂方海水浴場	1,235千円 586千円
	7.7～8.19	(株)デンキケンキ村	立岩・後ヶ浜海水浴場	1,619千円 1,146千円
主な財源	7.8～8.26	竹野区	竹野海水浴場	515千円 513千円
	7.7～8.19	平区	平海水浴場	703千円 556千円
成果・課題	7.7～8.26	上野区	高嶋海水浴場	874千円 569千円
	7.8～8.26	中浜区	中浜海水浴場	2,856千円 615千円
所管課	※補助対象期間：平成30年7月14日～8月19日			
	※久留海水浴場は災害復旧の影響で実施無し			
所管課	○報償費（水難救助船運行謝金）			10千円
	○旅費（海難防止推進連絡会議：舞鶴市）			2千円
所管課	○需用費（消耗品費）			38千円
	○役務費（クリーニング手数料・火災保険料）			2千円
所管課	○委託料（水難啓発救助委託料）			80千円
	○備品購入費（AED・放送設備一式購入）			408千円
所管課	府補	未来づくり交付金（海水浴場連絡員配置等支援事業）		
	繰入金	ふるさと応援基金繰入金		
所管課	4,500千円			3,000千円
	○本補助制度が、海水浴場開設者にとって、「京都府遊泳者及びプレジャーボートの事故の防止等に関する条例」遵守のインセンティブとなっている効果がある。 ○平成30年度から「補助制度」に切り替えたことにより、開設者の「事業主体としての自覚」高揚には寄与できているものの、本補助金に依存することなく更に快適な海水浴場を提供していくための、開設者の意識改革も必要である。			
所管課	商工観光部／観光振興課			

予算科目	07商工費	01商工費	04観光振興費	05観光ﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝ推進事業
細事業名	01 観光ﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝ推進事業			決算書 P.120
総合計画	計画項目	4 滞在型観光・スポーツ観光の促進		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
4,314千円	4,472千円	158千円	96.4 %	4,808千円
目的	各種広報媒体の活用やイベントでのキャンペーン、広域観光団体との連携によるPR活動の展開等により、観光資源、観光情報を発信し、観光客誘致の促進を図る。			
主要な事務・事業の概要	○誘客イベント等情報発信及び広告掲載等経費 330千円 ・FM京都(α-STATION) 広告(イベント告知等:3回) 324千円 ・JAF観光登録システム使用料 6千円 ○観光宣伝活動等事務経費 813千円 ・キャンペーン景品、観光宣伝物品等 229千円 ・旅費、有料道路通行料等 584千円 ○魅力発信プロモーション及びデジタルマーケティング活用研修会 46千円 ・講師費用弁償 (7月27日開催) ○大河ドラマ誘致活動における「ガラシャ隠棲の地」視察見学会 16千円 ・バス運転委託料、バス燃料代 (4月21日実施) ○広域観光団体負担金 2,950千円 ・(一社)豊岡観光イノベーション(豊岡DMO) 300千円 ・(公社)京都府観光連盟 390千円 ・北近畿広域観光連盟 1,204千円 ・NHK大河ドラマ誘致推進協議会 750千円 ・歴史街道推進協議会 100千円 ・因幡・但馬・丹後観光協議会 106千円 ・(特非)ジャパン・フィルムコミッション 100千円 ○スマートフォン用観光アプリケーションサーバー使用料 120千円 「わくわく京丹後へGO!」観光アプリケーション維持管理 ○「ミニポートピア京丹後3周年競走」物産展等PR経費【政策企画課】 39千円 - 開催日:平成31年3月31日			
主な財源				
成果・課題	○関係市町等の誘致活動が実り、2020年の「NHK大河ドラマ」が「明智光秀」に決定し、本市ゆかりの人物「細川ガラシャ」を観光資源として活用できるようになった。 ○「細川ガラシャ隠棲地」である味土野までのアクセス道路が狭隘であることを考慮し、車両での現地移動を要しないガイドツアーや、公式ロゴ関連商品の開発・販売及びそれらに重点を置いたプロモーションを展開する必要がある。			
所管課	商工観光部／観光振興課、市長公室／政策企画課			

予算科目	07商工費	01商工費	04観光振興費	06地域総ぐるみ観光地づくり事業
細事業名	01 海の京都DMO推進事業			決算書 P.120
総合計画	計画項目	4 滞在型観光・スポーツ観光の促進		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
57,700千円	57,700千円	0千円	100.0 %	66,834千円
目的	「京都府北部地域連携都市圏振興社」に参画するとともに、同京丹後地域本部（京丹後市観光協会）の活動を支援することで、魅力ある観光地づくりを推進する。			
主要な事務・事業の概要	○京都府北部地域連携都市圏振興社（海の京都DMO）運営負担金 17,364千円 府と北部7市町等で構成する海の京都DMOの運営に関する経費を負担し、広域連携によるプロモーション活動、インバウンド誘客等、海の京都地域の「ブランド観光地域づくり」に向けて取り組んだ。			
	○京都府北部地域連携都市圏振興社京丹後地域本部（京丹後市観光協会）補助金 40,336千円			
	【事業費】 32,305千円			
	・観光情報センター運営経費 9,925千円 （人件費：正職員2人及び臨時職員2人並びに事業費）			
	・商品造成事業 10,150千円 （人件費：正職員1人及び臨時職員3人並びに事業費）			
	・誘客促進活動事業 12,230千円			
	広告宣伝事業（ホームページリニューアルなど） 4,048千円			
	広域誘客推進事業（観光パンフレット増刷など） 1,822千円			
	誘客イベント事業、海開き事業 876千円			
	インバウンド推進事業（タイ国際旅行博参加など） 684千円			
海の京都エリア活性化事業（6支部活動補助金） 4,800千円				
【管理費】（人件費：正職1人、臨時職3人含む） 8,031千円				
・職員の給与、法定福利費等 7,748千円				
・旅費、通信費、事務費等 283千円				
主な財源	国補	地方創生推進交付金（1/2）		6,356千円
	府補	未来づくり交付金（海の京都DMO京丹後地域本部支援事業）		3,000千円
	府補	「もうひとつの京都」ｽﾏｰｯﾌﾟｱｯﾌﾟ推進事業費交付金（1/2）		1,000千円
成果・課題	○市観光協会のホームページをリニューアルし、次年度以降のWEBマーケティング戦略の充実に向けた基盤ができた。 ○市観光協会として、観光協会会員等市内の観光関連業界から期待されるよう、これまでの事業内容を見直すとともに、トップマネジメント機能が働く新たな組織体制を整備していく必要がある。			
所管課	商工観光部／観光振興課			

予算科目	07商工費	01商工費	04観光振興費	07観光インフラ整備等促進実行調整費基金										
細事業名	01 観光インフラ整備等促進実行調整費基金			決算書 P.120										
総合計画	計画項目	4 滞在型観光・スポーツ観光の促進												
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額										
52,613千円	52,614千円	1千円	99.9 %	12千円										
目的	観光地として魅力ある環境整備を推進することを目的とした観光インフラ整備等促進実行調整費基金への積立金													
主要な事務・事業の概要	○観光インフラ整備等促進実行調整費基金積立金 52,583千円 (平成29年度入湯税収入相当額 52,583,250円) ○観光インフラ整備等促進実行調整費基金積立金(利子分) 30千円 (参考) 基金の状況 (単位:千円) <table border="1"> <thead> <tr> <th>平成29年度末 現在高 ①</th><th>平成30年度中増減額 繰入金 ②</th><th>運用利子 ③</th><th>積立金 ④</th><th>平成30年度末 現在高 ①-②+(③+④)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>127,836</td><td>28,555</td><td>30</td><td>52,583</td><td>151,894</td></tr> </tbody> </table> (充当:1事業) 観光インフラ整備等促進事業 桜尾温泉配管敷設補助、浅茂川浦島温泉送湯ポンプ等取替補助及び 浜の路臨江庵離れ新設事業補助ほか				平成29年度末 現在高 ①	平成30年度中増減額 繰入金 ②	運用利子 ③	積立金 ④	平成30年度末 現在高 ①-②+(③+④)	127,836	28,555	30	52,583	151,894
平成29年度末 現在高 ①	平成30年度中増減額 繰入金 ②	運用利子 ③	積立金 ④	平成30年度末 現在高 ①-②+(③+④)										
127,836	28,555	30	52,583	151,894										
主な財源	財産収入 観光インフラ整備等促進実行調整費基金利子収入 30千円													
成果・課題														
所管課	商工観光部/観光振興課													

予算科目	07商工費	01商工費	04観光振興費	09海の京都推進事業
細事業名	01 海の京都推進事業(繰越)			決算書 P.120
総合計画	計画項目	4 滞在型観光・スポーツ観光の促進		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
981千円	1,974千円	993千円	49.6 %	1,974千円
目的	アート作品「巨大な土の球体」を設置し、観光地としての魅力向上を図る。			
主要な事務・事業の概要	○物品処分委託料 981千円 作品を作者に対し返却するための経費			
主な財源				
成果・課題	市内への設置に向け作者と調整を図ったが、安全対策等に関する展示方法について合意に至らなかったことから、作者との協議により返却することとなった。			
所管課	商工観光部/観光振興課			

予算科目	07商工費	01商工費	04観光振興費	50観光振興一般経費		
細事業名	01 観光振興一般経費				決算書	P.120
総合計画	計画項目	4 滞在型観光・スポーツ観光の促進				
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
11,595千円		11,704千円	109千円	99.0 %	11,060千円	
目的	観光に関する専門的知見を有する旅行会社社員を市職員として受け入れるとともに、観光関係団体へ加盟、観光サインの整備等により、観光振興を図る。					
主要な事務・事業の概要	○地域おこし企業人交流プログラム受入事業負担金10,000千円 総務省「地域おこし企業人交流プログラム事業」を活用し、観光に関する専門的な知識やノウハウを持つ都市圏の大手旅行会社の社員を受け入れた。 ・受入期間：平成30年4月1日～平成31年3月31日 ・配属部署：商工観光部観光振興課 ・活動内容：「海の京都」実践会議、海の京都DMO及び豊岡DMO参画関連、体験型観光、教育旅行、インバウンドの推進など ○協議会等加盟負担金47千円 ・全国道の駅連絡会負担金20千円 ・近畿道の駅連絡会負担金27千円 ○事務費18千円 ・職員旅費、有料道路通行料、消耗品費 ○観光サイン維持管理経費1,530千円 ・看板修繕費（天女の里看板、浅茂川温泉静の里看板等）992千円 ・看板撤去費（スイス村誘導看板、平地地藏誘導看板）150千円 ・看板設置土地賃借料（39か所）388千円					
主な財源						
成果・課題	○「地域おこし企業人交流プログラム事業」の活用により、(株)JTB社員の派遣を受けたことで、宿泊客増加のための「旬の逸品キャンペーン」、「企画列車モニターツアー」、「修学旅行誘致に向けた韓国ソリョン高校へのPR」など、市職員だけではできないマッチング事業、ツアー商品の造成を展開することができた。 ○観光サインの中には、設置から年数経過したものもあり、今後計画的に修理や改築を行わなければならない。					
所管課		商工観光部／観光振興課				

予算科目	07商工費	01商工費	05観光等施設費	01海浜等施設管理事業		
細事業名	01 海浜等施設管理事業				決算書	P.122
総合計画	計画項目	4 滞在型観光・スポーツ観光の促進				
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
8,281千円		8,552千円	271千円	96.8 %	8,802千円	
目的	海水浴場等にある観光関連施設（トイレ、休憩所等）の清掃及び修繕等維持管理を行い、海岸地域の美化と観光客等の利便性及び快適性の向上を図る。					
主要な事務・事業の概要	○委託料 3,162千円 ・海水浴場等施設観光関連施設維持管理委託料 691千円 （トイレ、脱衣所、シャワー室、休憩所等） ・浄化槽維持管理委託料（琴引浜西トイレ） 607千円 ・海水浴場清掃美化委託料（海水浴場排出ごみ） 1,864千円 ○需用費 3,813千円 ・消耗品費（トイレトーパー、清掃用消耗品等） 79千円 ・光熱水費（電気料金、上下水道料金） 2,955千円 ・修繕料（トイレ修繕、シャワー修繕、水道設備修繕等） 779千円 ○役務費 1,142千円 ・手数料（し尿汲取手数料、浄化槽法定検査手数料等） 1,083千円 ・保険料（火災保険料） 59千円 ○使用料及び賃借料 164千円 ・土地借上料（中浜オートキャンプ場用地）					
主な財源						
成果・課題	○海水浴場等に設置しているシャワー・トイレ及び脱衣所等を清潔かつ快適に維持管理することにより、支障なく快適に利用できる環境を提供することができた。 ○施設の老朽化が進む中、利用者に事故等が発生しないようこまめな点検を行うとともに、緊急性の高い事案には速やかに修繕等対応していく必要がある。					
所管課	商工観光部／観光振興課					

予算科目	07商工費	01商工費	05観光等施設費	02自然公園管理事業
細事業名	01 自然公園管理事業			決算書 P.122
総合計画	計画項目	4 滞在型観光・スポーツ観光の促進		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
13,353千円	13,665千円	312千円	97.7 %	14,095千円
目的	京都府から管理委託を受けた国立公園及び国定公園区域内にある公園施設等の適正な維持管理を行い、自然公園の環境保全及び活用を促進する。			
主要な事務・事業の概要	山陰海岸国立公園、丹後天橋立大江山国定公園にある京都府管理の自然公園施設（京都府から本市へ管理委託され、市は地元区等に再委託）の維持管理及び環境保全を行った。			
	【参考】			
	自然公園名	町名	園地等の名称	
	山陰海岸国立公園	久美浜町	かぶと山、大向、湊宮、葛野、箱石	
		網野町	浜詰、夕日ヶ浦、五色浜	
	丹後天橋立大江山国定公園	小浜、掛津、遊、三津		
		丹後町	後ヶ浜、犬ヶ岬、丹後松島、経ヶ岬	
	○自然公園施設等管理委託料（12園地・4遊歩道）	6,280千円		
	○自然公園内ごみ収集委託料（5園地）	2,018千円		
	○トイレ清掃・水道施設管理委託料、パイオトイレ維持管理委託料	1,158千円		
○し尿汲取手数料（7園地）	1,565千円			
○修繕料（経ヶ岬園地水道施設、五色浜園地倉庫修繕）	69千円			
○通信運搬費（経ヶ岬園地水道施設遠方監視システム）	30千円			
○消耗品費、光熱水費（10園地）	2,054千円			
○火災保険料（五色浜園地給水装置機械室棟、丹後松島トイレ）	9千円			
○土地借上料（後ヶ浜園地トイレ用地、経ヶ岬園地駐車場用地）	160千円			
○補修用原材料費	10千円			
主な財源	府委	国立公園・国定公園管理委託金	8,694千円	
成果・課題	○自然公園施設等の維持管理及び環境保全を実施し、観光客に安全で快適な環境を提供することができた。 ○改修の必要な施設や撤去・修繕の必要な看板について、今後とも京都府へ早急な対応を求めていく必要がある。			
所管課	商工観光部／観光振興課			

予算科目	07商工費	01商工費	05観光等施設費	03観光等施設指定管理運営事業
細事業名	01 指定管理施設運営事業			決算書 P.122
総合計画	計画項目	4 滞在型観光・スポーツ観光の促進		
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額
115,657千円		115,706千円	49千円	99.9 % 117,599千円
目的	観光関連施設の効果的かつ効率的な管理運営と利用者サービスの向上を図るため、指定管理者に施設の管理運営を委託するとともに、施設設備の適切な維持管理を行う。			
主要な事務・事業の概要	○需用費（弥栄あしぎぬ温泉電気代）		11,445千円	
	○役務費		2,016千円	
	・火災・自動車損害保険料		1,114千円	
	・水道水質検査手数料（森林公園スイス村、奥山自然たいけん公園）等		902千円	
	○委託料		100,225千円	
	・受変電設備保守管理委託料（弥栄あしぎぬ温泉）		165千円	
	・特殊建築物等報告業務委託料		1,620千円	
	（浅茂川温泉静の里、はしうど荘、宇川温泉よし野の里、弥栄あしぎぬ温泉、森林公園スイス村）			
	・風蘭の館表題登記業務委託料		139千円	
	・奥山自然たいけん公園専用水道塩素管理業務		468千円	
	・指定管理委託料		97,833千円	
	天女の里	9,518千円	高嶋園地	0千円
	小町公園	3,492千円	森林公園スイス村	33,515千円
	浅茂川温泉静の里	21,089千円	弥栄あしぎぬ温泉	6,984千円
	道の駅てんきてんき丹後	0千円	風蘭の館	957千円
はしうど荘	3,385千円	奥山自然たいけん公園	1,131千円	
碓高原ステーキハウス	483千円	久美浜豪商「稲葉本家」	5,847千円	
宇川温泉よし野の里	9,522千円	かぶと山公園	1,910千円	
		計	97,833千円	
	○使用料及び賃借料		1,971千円	
	・土地借上料（施設用地（全9か所））		1,401千円	
	・機械器具借上料（AED18台）		570千円	
主な財源	諸収入	水質検査料一部負担金	83千円	
	諸収入	弥栄あしぎぬ温泉電気代等負担金	11,610千円	
	市債	過疎地域自立促進特別事業債（過疎対策債）	89,500千円	
成果・課題	○民間事業者のノウハウを活かし、観光施設の適切な運営と維持管理を行った。 ○公共施設の見直し計画に基づき「風蘭の館」を地元団体に譲渡した。 ○公共施設の見直し計画に基づき「奥山自然たいけん公園」を廃止するとともに、地域コミュニティ施設としての活用を図るべく「茶屋あそび石」を地元区へ貸付した。 ○設置目的の達成状況や利用実態等を考慮しつつ、既存施設の在り方等について不断の検討を行っていく必要がある。			
所管課	商工観光部／観光振興課			

予算科目	07商工費	01商工費	05観光等施設費	03観光等施設指定管理運営事業
細事業名	01 指定管理施設運営事業（繰越）			決算書 P.122
総合計画	計画項目	4 滞在型観光・スポーツ観光の促進		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
2,861千円	3,213千円	352千円	89.0 %	3,084千円
目的	指定管理施設を地元の関係団体へ無償譲渡するため、施設に係る土地の整理（境界確定・登記等）を行うもの。			
主要な事務・事業の概要	○風蘭の館用地登記委託事業 ・職員旅費 122千円 ・手数料（住民票等取得手数料） 2千円 ・登記委託料 2,731千円 ・有料道路通行料 6千円			
主な財源				
成果・課題	指定管理施設「風蘭の館」の地元団体への譲渡に向け、境界確定等必要な土地の整理を行うことができた。			
所管課	商工観光部／観光振興課			

予算科目	07商工費	01商工費	05観光等施設費	03観光等施設指定管理運営事業
細事業名	02 指定管理施設大規模改修事業（繰越）			決算書 P.122
総合計画	計画項目	4 滞在型観光・スポーツ観光の促進		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
13,945千円	15,007千円	1,062千円	92.9 %	15,136千円
目的	浅茂川温泉静の里温泉原水槽が破損しており、温泉水が漏水することから既存の水槽を撤去し、新たに水槽を設置するもの。			
主要な事務・事業の概要	○委託料 ・浅茂川温泉静の里温泉原水槽取替工事監理業務 445千円 ○工事請負費 ・浅茂川温泉静の里温泉原水槽取替工事 13,500千円			
主な財源				
成果・課題	新たな水槽を設置したことにより、施設の適切な運営に寄与できた。			
所管課	商工観光部／観光振興課			

予算科目	07商工費	01商工費	05観光等施設費	03観光等施設指定管理運営事業
細事業名	02 指定管理施設大規模改修事業			決算書 P.122
総合計画	計画項目	4 滞在型観光・スポーツ観光の促進		
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
57,239千円	57,332千円	93千円	99.8 %	26,385千円
目的	観光関連の指定管理施設において、大規模な施設改修・修繕を市が行い、施設の適切な維持管理に努める。			
主要な事務・事業の概要	○需用費（修繕料） 13,557千円 ・天女の里（コテージ畳替え、受水槽修繕） 865千円 ・浅茂川温泉静の里（プール玄関漏水修繕） 586千円 ・はしうど荘（軒補修） 21千円 ・宇川温泉よし野の里（放水ポンプ、天井修繕） 938千円 ・森林公園スイス村（圧雪車修繕） 2,224千円 ・弥栄あしぎぬ温泉 1,909千円 （ウッドデッキ、ブリッジ梁、露天風呂ろ過設備修繕） ・風蘭の館（厨房土間、和室床張替、建具、外灯修繕） 2,475千円 ・豪商稲葉本家 2,061千円 （白漆喰壁、入り口壁、雨戸、廊下床板、外蔵白壁修繕） ・かぶと山公園 1,833千円 （第1テントサイト、第2テントサイト、虹の家ガス給湯器等修繕） ・奥山自然たいけん公園（バンガロー雨漏り、法面修繕） 645千円 ○役務費 189千円 ・漏電点検手数料（はしうど荘、宇川温泉よし野の里） 162千円 ・フロンガス処分手数料 27千円 ○委託料 2,565千円 ・小町公園（トイレ改修工事設計監理委託、便槽消毒委託） 1,169千円 ・弥栄あしぎぬ温泉（ブリッジ梁調査業務委託） 450千円 ・豪商稲葉本家（しろあり等害虫駆除業務委託） 848千円 ・産業廃棄物処理委託料（備品の廃棄に伴う処理委託） 98千円			

予 算 科 目	07商工費	01商工費	05観光等施設費	03観光等施設指定管理運営事業
細 事 業 名	02 指定管理施設大規模改修事業			決算書 P.122
総 合 計 画	計 画 項 目	4 滞在型観光・スポーツ観光の促進		
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○工事請負費		36,176千円	
	・奥山自然たいけん村（バンガロー給水配管取替、給湯機取替等）		2,253千円	
	・浅茂川温泉静の里（循環ポンプ取替、プールろ過循環ポンプ取替等）		5,216千円	
	・はしうど荘（脱衣場空調機取替、ボイラー送風機取替等）		4,108千円	
	・道の駅てんきてんき丹後（高圧受電設備取替、遊具撤去等）		1,380千円	
	・宇川温泉よし野の里（塩素薬注ポンプ取替、漏電改修等）		7,129千円	
	・森林公園スイス村（高原浴場ポンプ取替、水道流量メーター取替等）		2,313千円	
	・弥栄あしぎぬ温泉（湯湯管取替、陸屋根防水改修工事等）		8,458千円	
	・風蘭の館（厨房内エアコン取替工事）		442千円	
	・碓高原ステーキハウス（雨漏修繕工事）		816千円	
・小町公園（イベント展望ゾントイレ改修、外灯新設工事）		4,061千円		
	○備品購入費		4,617千円	
	・道の駅てんきてんき丹後（ガスフライヤー）		159千円	
	・小町公園（展示用パネル）		267千円	
	・宇川温泉よし野の里（POSシステム用パソコン）		500千円	
	・はしうど荘（食器洗浄機）		1,188千円	
	・茶屋あそび石（業務用冷蔵庫）		106千円	
	・天女の里（業務用冷蔵庫）		486千円	
	・風蘭の館（ガスオーブン、電子レンジ、冷凍冷蔵庫、製氷機）		1,218千円	
	・弥栄あしぎぬ温泉（ハットリマー、オーブンレンジ、台下冷蔵庫）		693千円	
	○負担金			
・小町公園イベント展望ゾントイレ下水道加入分担金		135千円		
主 な 財 源	府補 未来づくり交付金（観光誘客施設整備事業）			16,000千円
成 果 ・ 課 題	○必要な修繕等を実施することにより、公共施設を適正に保全するとともに、利用者の安全性、利便性及び快適性を確保できた。			
	○施設の老朽化による不具合箇所の進行を早期発見し、早めに対処することにより損傷の拡大を防ぐ必要がある。			
所 管 課		商工観光部／観光振興課		

予 算 科 目		07商工費	01商工費	05観光等施設費	50観光等施設一般経費		
細 事 業 名		01 観光等施設一般経費				決算書	P.122
総 合 計 画		計 画 項 目	4 滞在型観光・スポーツ観光の促進				
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考) 当初予算額		
28,157千円		38,628千円	10,471千円	72.8 %	39,673千円		
目 的		市内の公園、トイレ、休憩所等の公共用施設を適切に維持管理することにより、市民、観光客等の憩いの場としての環境づくりを推進する。					
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○施設管理委託料（清掃、草刈り、水質検査、機械警備等）					8,031千円	
	地 域 名		施 設 名				
	峰山地域		羽衣茶屋、泉の爽香苑、薬師ヶ丘さくらの森公園等				
	大宮地域		平地地藏公園、ブナハウス内山、おおみや小町温泉源等				
	網野地域		子午線塔、静の杜、離湖公園等				
	丹後地域		経ヶ岬・碓高原水道施設、碓高原畜産展示資料館等				
	弥栄地域		細川ガラシャ夫人の碑等				
	久美浜地域		東山公園、城山公園、山内施設等				
	○その他の維持管理経費					20,126千円	
	・消耗品費（施設管理用消耗品等）					106千円	
	・光熱水費（トイレ等電気料、上下水道使用料等）、草刈機燃料費					1,245千円	
	・修繕料等（碓高原水道施設、経ヶ岬観光案内所電気設備等）					1,967千円	
	・通信運搬費（離湖公園電話料）					31千円	
	・手数料（し尿汲取手数料等）					346千円	
	・保険料（建物火災保険・自動車損害保険）					110千円	
	・土地借上料（ブナハウス内山用地ほか7か所）					443千円	
	・丹後温泉温泉管移設工事					15,606千円	
	・原材料費（補修用碎石）					3千円	
	・表題登記委託料（吉野土産物製造基地）					239千円	
	・負担金（おおみや小町温泉温泉スタンド電気料負担金）					30千円	
		参考	繰越明許費を除いた最終予算額		28,628千円		
			実質的な予算執行率		98.3 %		
■令和元年度への繰越事業							
		十楽公園整備事業【土木課】		令和2年3月完了予定		10,000千円	
主 な 財 源	府委	碓高原畜産展示資料館管理委託金（10/10）				1,025千円	
	諸収入	丹後温泉電力料				352千円	
	諸収入	丹後温泉源泉管理負担金、公共井戸水電力費				197千円	
	諸収入	温泉管移設補償金				9,587千円	
	市債	観光施設整備事業債（合併特例債）				5,700千円	
成 果 ・ 課 題	清掃、修繕等維持管理を適切に行い、利用者が安全・快適に使用できる施設環境を提供できた。						
所 管 課		商工観光部／観光振興課、建設部／土木課					

予 算 科 目	08土木費	01土木管理費	01土木総務費	03地籍調査事業		
細 事 業 名	01 地籍調査事業				決算書	P.122
総 合 計 画	計 画 項 目	13 高速道路網と安全な生活道路網の整備促進				
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額		
53,496千円	179,119千円	125,623千円	29.8 %	121,653千円		
目 的	山陰近畿自動車道（大宮峰山道路）の早期整備促進と円滑な土地利用を図るため、境界確認及び測量業務を実施する。					
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	大宮町周枳地区、河辺地区、峰山町新町地区、石丸地区、網野町生野内地区、公庄地区において、土地所有者の調査、境界立会い及び境界点の測量等を行った。					
	○嘱託職員報酬、共済費、費用弁償（2人）					3,743 千円
	○旅費					80 千円
	・ 予算要望活動、各協議会会議への出席等					
	○地籍調査支援システム保守業務委託料、システム使用料					1,222 千円
	○地籍調査業務委託料					46,834 千円
	・ 峰山町新町③地区（0.1km ² ）					2,862 千円
	一筆地調査（境界立会い）、一筆地測量					
	・ 大宮町河辺①地区（0.33km ² ）閲覧					1,728 千円
	・ 大宮町周枳①②⑤⑥地区（1.27km ² ）					31,925 千円
	一筆地調査（境界立会い）、一筆地測量					
	・ 大宮町周枳③④⑦⑧地区 閲覧					3,861 千円
	・ 峰山町石丸、網野町生野内、公庄地区（1.4km ² ）					6,458 千円
	地籍図根三角測量、地権者調査					
	○地籍調査推進員報償費（20人）					525 千円
	○需用費（消耗品費、燃料費、修繕費）					591 千円
	○役務費（自動車保険料）					64 千円
	○使用料及び賃借料（有料道路通行料）					23 千円
	○負担金（全国国土調査協会、京都府国土調査推進連絡協議会）					414 千円
		参考	明許繰越を除いた最終予算額		54,119千円	
			実質的な予算執行率		98.8%	
■ 令和元年度への繰越事業						
地籍調査事業（7地区）		令和2年1月完了予定		125,000千円		
主 な 財 源	府補	地籍調査事業補助金（3/4）				40,122千円
	諸収入	市有自動車損害共済金				30千円
成 果 ・ 課 題	○調査地区内の土地境界立会い及びその境界点の測量の進捗が図れた。					
	○調査の効率化を図るため、土地所有者等に事業の重要性を理解していただき、協力体制を築く必要がある。					
所 管 課		建設部／管理課				

予算科目	08土木費	01土木管理費	01土木総務費	03地籍調査事業
細事業名	01 地籍調査事業（繰越）			決算書 P.122
総合計画	計画項目	13 高速道路網と安全な生活道路網の整備促進		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
118,983千円	119,902千円	919千円	99.2 %	119,902千円
目的	山陰近畿自動車道（大宮峰山道路）の早期整備促進と円滑な土地利用を図るため、境界確認及び測量業務を実施する。			
主要な 事業・ 事業の 概要	大宮町森本地区、河辺地区、峰山町新町地区、荒山地区、網野町郷地区において、測量基準点の設置及び土地所有者の調査、土地境界確認及び測量を行った。 ○地籍調査業務委託料 117,983 千円 ・大宮町森本②③地区（0.31km²） 1,394 千円 閲覧 ・大宮町河辺 ①地区（0.33km²） 10,141 千円 一筆地調査（境界立会い）、一筆地測量 ・大宮町河辺 ②地区（0.74km²） 23,629 千円 一筆地調査（境界立会い）、一筆地測量 ・峰山町新町 ①地区（0.82km²） 25,380 千円 一筆地調査（境界立会い）、一筆地測量 ・峰山町新町 ②地区（0.27km²） 1,750 千円 閲覧 ・峰山町荒山 地区（1.23km²） 38,787 千円 一筆地調査（境界立会い）、一筆地測量 ・峰山町荒山 ①地区（1.03km²） 6,480 千円 閲覧 ・峰山町荒山②③地区（1.11km²） 6,048 千円 ・地籍図根三角測量、地権者調査 ・網野町郷 地区（1.03km²） 4,374 千円 ・地籍図根三角測量、地権者調査 ○地籍調査推進委員報償費（29人） 1,000 千円			
主な 財源	府補 地籍調査事業補助金（3/4） 89,237千円			
成果・ 課題	調査地区内の土地境界立会い及びその境界点の測量が完了した。			
所管課	建設部／管理課			

予算科目	08土木費	01土木管理費	01土木総務費	50土木総務一般経費
細事業名	01 土木総務一般経費			決算書 P.122
総合計画	計画項目	13 高速道路網と安全な生活道路網の整備促進		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
27,370千円	27,829千円	459千円	98.3 %	27,050千円
目的	国及び京都府が実施する道路事業の推進並びに市道及び法定外公共物の管理に係る経費			
主要な 事業・ 事業の 概要	[所管：管理課] ○土木一般管理事務費 803千円 - 普通旅費・事務消耗品・有料道路通行料等 ○公用車維持管理費（8台） 1,148千円 ○市道照明等電気代 1,115千円 ○未登記分筆登記委託料（7箇所） 5,171千円 ○事務補助業務人材派遣委託料 299千円 ○道路台帳補正業務委託料 9,031千円 ○道路台帳システム保守点検委託料 583千円 ○道路情報通報システム導入保守業務料 745千円 ※スマートフォン用アプリ「バ撮ロール」の運用 - 運用開始：平成30年10月11日 ○道路関係各種協会、協議会等負担金（7機関） 430千円 [所管：管理課（国府事業推進室）] ○山陰近畿自動車道早期実現促進大会経費 171千円 ・開催日：平成30年10月21日、出席人数：約330人 ・場所：京丹後市大宮町【アグリセンター大宮】 ○山陰近畿自動車道アンケート調査業務委託料 1,663千円 ・調査対象者：市内在住の18歳以上、3,200人（住民基本台帳より無作為抽出） ・有効回収数：1,585 ・有効回収率：49.5% [所管：土木課] ○間人（小泊）法面工事実施設計委託料（A=450m²） 6,211千円			
主な 財源	手数料 屋外広告物許可手数料 417千円 手数料 境界確定調査事務手数料 18千円 諸収入 市有自動車損害共済金 22千円 市債 法面崩壊等対策事業債（合併特例債） 5,900千円			
成果・ 課題	○市道管理に必要な道路台帳システムの更新、道路用地の未登記用地の整理を行い、土木事業を推進することができた。 ○国及び京都府の業務支援を行い、山陰近畿自動車道をはじめとする市内での事業の推進を図ることができた。			
所管課	建設部／管理課（国府事業推進室）、土木課			

予算科目	08土木費	01土木管理費	01土木総務費	50土木総務一般経費
細事業名	01 土木総務一般経費（繰越）			決算書 P.122
総合計画	計画項目	13 高速道路網と安全な生活道路網の整備促進		
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額
21,379千円	35,735千円	14,356千円	59.8%	35,735千円
目的	河川の用地整理等が未完了の箇所における調査測量、分筆登記等の処理を行う。また、袖志地区の里道付替工事を行い、適正な道路管理の進捗を図る。			
主要な事務・事業の概要	[所管：管理課] ○河川用地等の未登記整理及び境界確定業務 663 千円 準用河川鶴川未登記敷地整理業務（大宮町鶴川） [所管：土木課] ○袖志里道付替工事（丹後町袖志） L=66.0m W=4.0m 20,716 千円 （消耗品等含む）			
主な財源	諸収入 里道付替公共補償金 20,715千円			
成果・課題	○用地整理、境界確定ができたことにより、河川の適正な財産管理が図れた。 ○里道の付け替え工事により、安全な通行の確保が図れた。			
所管課	建設部／管理課、土木課			

予算科目	08土木費	02道路橋梁費	01道路橋梁維持費	01道路橋梁維持補修事業						
細事業名	01 市道維持補修事業			決算書 P.124						
総合計画	計画項目	13 高速道路網と安全な生活道路網の整備促進								
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額						
110,155千円		125,774千円	15,619千円	87.5% 125,774千円						
目的	市が管理する施設や交通安全施設の維持修繕及び草刈作業を行い、利用者の安全を図る。また、道路パトロール作業員による日常点検を実施し損傷等の早期発見に努める。									
主要な事務・事業の概要	[所管：管理課]									
	○市道、里道・水路、交通安全施設修繕料			59,529千円						
	区分	峰山	大宮	網野	丹後	弥栄	久美浜	管理課	計	
	修繕	件数	26	35	14	21	9	42	79	226
		金額	5,319	7,976	3,242	3,896	2,364	12,400	6,844	42,041
	重機借上	件数	22	22	9	0	1	15	5	74
		金額	1,140	837	380	0	83	384	113	2,937
	原材料	件数	48	24	17	1	3	43	87	223
		金額	4,081	2,442	1,072	69	171	3,329	3,387	14,551
	(市民局施工分…地域協働型小規模公共事業)									
○市道環境整備等委託料（市道草刈）			21,712千円							
○交通安全施設（カーブミラー、ガードレール等）整備工事			9,064千円							
○道路パトロール経費			8,925千円							
・作業員賃金（4人）、社会保険料、傷害保険等			7,760千円							
・消耗品、ごみ処理手数料、チェーンソー修繕等			1,065千円							
・道路パトロール用携帯電話借上料 2台			100千円							
○公用車維持管理費（車検、修繕料、燃料費等 1台）			1,178千円							
[所管：土木課]										
○市道維持修繕工事（1路線）			9,698千円							
○小坂オベソ線仮橋用地補償料（247㎡）			49千円							
参考			繰越明許費を除いた最終予算額	111,581千円						
			実質的な予算執行率	98.7%						
■令和元年度への繰越事業[所管：土木課]										
・乗定中川原線 ほか4路線 令和元年12月完成予定			14,193千円							
主な財源	繰入金	地域振興基金繰入金	50,000千円							
	市債	道路改良事業（合併特例債）	9,400千円							
成果・課題	○老朽化及び経年損耗等により通行に支障が生じている道路施設の補修を実施し、安心・安全な通行の確保を図った。 ○道路構造物の老朽化及び経年損耗等が進行しており、定期的な点検及び計画的な修繕が必要である。									
所管課		建設部／管理課、土木課								

予算科目	08土木費	02道路橋梁費	01道路橋梁維持費	01道路橋梁維持補修事業
細事業名	01 市道維持補修事業（繰越）			決算書 P.124
総合計画	計画項目	13 高速道路網と安全な生活道路網の整備促進		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
6,967千円	13,972千円	7,005千円	49.8 %	13,972千円
目的	市が管理する道路施設の維持修繕を行い、道路利用者の安全を図る。			
主要な事務・事業の概要	○市道維持修繕工事 6,967千円 (丹後町矢畑) 吉永遠下線 L=17m 路肩修繕 2,317千円 (丹後町間人) てんきてんき橋 L=15m 高欄・床板修繕 2,017千円 (網野町俵野) 木津田村線 L=5m 路肩修繕 2,633千円			
主な財源	市債 道路改良事業（合併特例債） 2,200千円			
成果・課題	○老朽化及び経年損耗等により、通行に支障が生じている道路施設の補修を実施し、安心・安全な通行の確保を図った。 ○道路構造物の老朽化及び経年損耗等が進行しており、定期的な点検及び計画的な修繕が必要である。			
所管課	建設部／土木課			

予 算 科 目	08土木費	02道路橋梁費	02道路橋梁新設改良費	01道路新設改良事業
細 事 業 名	01 道路新設改良事業			決算書 P.124
総 合 計 画	計画項目	13 高速道路網と安全な生活道路網の整備促進		
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率 (参考) 当初予算額
19,441千円		66,630千円	47,189千円	29.1 % 66,630千円
目的	道路施設の新設改良工事を行い、道路の安全性と利便性を高める。			
主要な事務・事業の概要	○道路新設改良		18,871千円	
	【継続】			
	(弥栄町木橋) 和田野木橋線		L=34m 道路嵩上	2,168千円
	(久美浜町箱石) 葛野箱石線		L=160m 道路拡幅	8,158千円
	【新規】			
	(峰山町荒山) 五百井線		L=180m 道路拡幅	4,239千円
	(網野町網野) 家の上丹治山支線		L=116m 道路改良	4,306千円
	○事務費（旅費、消耗品費、燃料費、有料道路通行料）		570千円	
	参考	繰越明許費を除いた最終予算額		19,501千円
		実質的な予算執行率		99.6%
■令和元年度への繰越事業			47,129千円	
	(峰山町荒山) 五百井線		令和元年12月完成予定	2,761千円
	(網野町網野) 家の上丹治山支線		令和元年12月完成予定	20,000千円
	(丹後町牧ノ谷) 宇川斉宮線		令和2年3月完成予定	16,636千円
	(久美浜町十楽) 十楽町東浜線		令和元年11月完成予定	7,332千円
	(久美浜町箱石) 葛野箱石線		平成31年4月完成	400千円
	主な財源	市債	道路改良事業債（合併特例債）	2,000千円
市債		道路改良事業債（過疎対策債）	16,800千円	
成果・課題	道路施設の新設改良工事を実施することにより、安心・安全な通行の確保を図った。			
所 管 課		建設部／土木課		

予 算 科 目		08土木費	02道路橋梁費	02道路橋梁新設改良費	01 道路新設改良事業		
細 事 業 名		01 道路新設改良事業（繰越）				決算書	P.124
総 合 計 画		計 画 項 目	13 高速道路網と安全な生活道路網の整備促進				
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額		
54,348千円		63,988千円	9,640千円	84.9 %	63,988千円		
目 的	道路施設の新設改良工事を行い、道路の安全性と利便性を高める。						
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○道路新設改良						54,348千円
	【継続】						
	(峰山町新町) 家ノ下古川線		L=22m	交差点改良	6,849千円		
	(峰山町内記) 中筋黒吹線		L=80m	道路拡幅	8,596千円		
	(網野町浅茂川) 布多村日吉橋線		L=63m	道路嵩上	6,855千円		
	(弥栄町木橋) 和田野木橋線		L=140m	道路嵩上	8,621千円		
	【新規】						
	(大宮町周枳) 田井垣線		L=260m	歩道設置	14,591千円		
	(網野町網野) 林線・大將軍線		L=330m	道路拡幅	6,040千円		
	(久美浜町十楽) 十楽町東浜線		L=40m	交差点改良	2,796千円		
主 な 財 源	市債	道路改良事業債（合併特例債）				37,900千円	
	市債	道路改良事業債（過疎対策債）				13,700千円	
成 果 ・ 課 題	道路施設の新設改良工事を実施することにより、安心・安全な通行の確保を図った。						
所 管 課		建設部／土木課					

予 算 科 目		08土木費	02道路橋梁費	02道路橋梁新設改良費	02社会資本整備総合交付金事業							
細 事 業 名		01 社会資本整備総合交付金事業			決算書	P.124						
総 合 計 画		計画項目	13 高速道路網と安全な生活道路網の整備促進									
決 算 額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額							
195,911千円		321,923千円	126,012千円	60.8 %	317,580千円							
目的 社会資本整備総合交付金を活用し、道路新設改良工事及び橋梁点検、橋梁修繕工事を 行い、道路の安全性と利便性を高める。												
主要な 事務・事業の概要												
○道路新設改良 48,361千円												
【継続】												
(大宮町周枳) 田井垣線 L=118m 歩道設置 35,194千円												
(網野町網野) 長田妹線 L=550m 道路拡幅 6,197千円												
(久美浜町口馬地) 栃谷口馬地線 L=275m 道路拡幅 6,970千円												
○橋梁点検、修繕工事 94,184千円												
橋梁点検業務(188橋) 57,868千円												
橋梁補修工事(3橋) 24,570千円												
橋梁修繕業務(6橋) 11,746千円												
○橋梁改築負担金 50,030千円												
(網野町網野) 福田橋(五反田東トン田線) 30,063千円												
(網野町下岡) 十王堂橋(十王堂線) 19,967千円												
○事務費等 3,336千円												
旅費、消耗品費、燃料費、有料道路通行料、データ使用料、 システム保守料、研修負担金												
<table><tr><td>参考</td><td>繰越明許費を除いた最終予算額</td><td>196,157千円</td></tr><tr><td></td><td>実質的な予算執行率</td><td>99.8%</td></tr></table>							参考	繰越明許費を除いた最終予算額	196,157千円		実質的な予算執行率	99.8%
参考	繰越明許費を除いた最終予算額	196,157千円										
	実質的な予算執行率	99.8%										
■令和元年度への繰越事業 125,766千円												
・長田妹線、栃谷口馬地線 令和元年9月完成予定 15,686千円												
・第二芦原橋 令和2年3月完成予定 12,000千円												
・城島橋ほか7橋 令和2年3月完成予定 62,110千円												
・橋梁改築負担金(福田橋) 令和元年12月完成予定 27,238千円												
・橋梁改築負担金(十王堂橋) 令和元年12月完成予定 8,732千円												
主な財源												
国補 社会資本整備総合交付金(605/10、5.5/10) 125,996千円												
府補 未来づくり交付金(橋梁長寿命化対策経費) 7,692千円												
市債 道路改良事業債(合併特例債) 300千円												
市債 道路改良事業債(過疎対策債) 55,600千円												
成果・課題												
○道路施設の新設改良工事及び修繕工事を社会資本整備総合交付金を活用し実施することにより、安心・安全な通行の確保を図った。												
○今後も交付金を活用した事業を実施し、生活の利便性の向上と、安心・安全で快適な道づくりを推進していく必要がある。												
所 管 課		建設部/土木課										

予 算 科 目		08土木費	02道路橋梁費	02道路橋梁新設改良費	02社会資本整備総合交付金事業
細 事 業 名		01 社会資本整備総合交付金事業（繰越）			決算書 P.124
総 合 計 画		計 画 項 目	13 高速道路網と安全な生活道路網の整備促進		
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考) 当初予算額
93,373千円		127,979千円	34,606千円	72.9 %	127,979千円
目的	社会資本整備総合交付金を活用し、道路新設改良工事及び橋梁修繕工事を行い、道路の安全性と利便性を高める。				
主要な事務・事業の概要	○道路新設改良		13,016千円		
	【継続】				
	(網野町網野) 長田妹線		L=550m 道路拡幅	13,016千円	
	○橋梁修繕工事		54,330千円		
	(大宮町・網野町) 三本木跨線橋・引原1号橋		23,416千円		
	(網野町郷) 御堂橋・堂谷橋		5,721千円		
(久美浜町口馬地) 第2宝寿橋		3,741千円			
(久美浜町芦原) 第二芦原橋		3,121千円			
(市内一円) 補修設計（7橋）		18,331千円			
○舗装修繕事業		8,027千円			
(弥栄町木橋) 丹波島津線		L=122m 舗装修繕	8,027千円		
○橋梁改築負担金		18,000千円			
(網野町下岡) 十王堂橋（十王堂線）		18,000千円			
主な財源	国補	社会資本整備総合交付金（6.05/10）			48,019千円
	市債	道路改良事業債（合併特例債）			9,900千円
	市債	道路改良事業債（過疎対策債）			33,900千円
成果・課題	○道路施設の新設改良工事及び修繕工事を社会資本整備総合交付金を活用し実施することにより、安心・安全な通行の確保を図った。 ○今後も交付金を活用した事業を実施し、生活の利便性の向上と、安心・安全で快適な道づくりを推進していく必要がある。				
所 管 課		建設部／土木課			

予 算 科 目	08土木費	02道路橋梁費	02道路橋梁新設改良費	04過疎対策道路整備事業
細 事 業 名	01 過疎対策道路整備事業（繰越）			決算書 P.124
総 合 計 画	計 画 項 目	13 高速道路網と安全な生活道路網の整備促進		
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②－①	執 行 率
30,165千円		33,990千円	3,825千円	88.7 %
				(参考) 当初予算額 33,990千円
目 的	道路施設の新設改良工事を行い、道路の安全性と利便性を高める。			
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○道路新設改良 30,165千円			
	【継続】			
	(久美浜町新町) 仲町引土線	L=102m	側溝改良	11,041千円
	(久美浜町箱石) 葛野箱石線	L=160m	道路拡幅	19,124千円
主 な 財 源	市債 道路改良事業債（過疎対策債）			29,300千円
成 果 ・ 課 題	道路施設の新設改良工事を実施することにより、安心・安全な通行の確保を図った。			
所 管 課		建設部／土木課		

予 算 科 目		08土木費	02道路橋梁費	03除雪対策費	01除雪対策事業																														
細 事 業 名		01 除雪事業				決算書	P.124																												
総 合 計 画		計 画 項 目	13 高速道路網と安全な生活道路網の整備促進																																
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考)当初予算額																													
179,946千円		184,794千円		4,848千円	97.3 %	209,794千円																													
目 的	速やかな除雪作業を行うことで、積雪時における円滑な道路交通を確保し、市民生活の安全・安心を確保する。																																		
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	除雪計画に基づき、市道及び府委託路線など関係機関、委託業者及び委託地区と協力して速やかな除雪作業を行った。																																		
	○平成30年度京丹後市除雪計画《概要》																																		
	・ 除雪期間 平成30年12月1日～平成31年3月15日																																		
	・ 作業実施基準 平成29年に定めた実施基準に基づき、除雪、排雪作業を行う。																																		
	・ 除雪路線数及び延長 延べ 2,722路線、総延長 787.91km																																		
	・ 配備除雪機械 288台（市154台、レンタル45台、業者89台）																																		
	・ 除雪作業委託契約相手方数 148団体（67業者、81地区）																																		
	○除雪・排雪作業出動日数内訳																																		
	<table><tr><td>町 名</td><td>除雪全域出動</td><td>除雪一部出動</td><td>排雪作業</td></tr><tr><td>峰山町</td><td>0日</td><td>4日</td><td>0日</td></tr><tr><td>大宮町</td><td>0日</td><td>1日</td><td>0日</td></tr><tr><td>網野町</td><td>0日</td><td>1日</td><td>0日</td></tr><tr><td>丹後町</td><td>0日</td><td>1日</td><td>0日</td></tr><tr><td>弥栄町</td><td>0日</td><td>8日</td><td>0日</td></tr><tr><td>久美浜町</td><td>0日</td><td>2日</td><td>0日</td></tr></table>							町 名	除雪全域出動	除雪一部出動	排雪作業	峰山町	0日	4日	0日	大宮町	0日	1日	0日	網野町	0日	1日	0日	丹後町	0日	1日	0日	弥栄町	0日	8日	0日	久美浜町	0日	2日	0日
	町 名	除雪全域出動	除雪一部出動	排雪作業																															
峰山町	0日	4日	0日																																
大宮町	0日	1日	0日																																
網野町	0日	1日	0日																																
丹後町	0日	1日	0日																																
弥栄町	0日	8日	0日																																
久美浜町	0日	2日	0日																																
○除雪費用内訳																																			
<table><tr><td>・ 除雪機械維持管理費</td><td>179,946千円</td></tr><tr><td>・ 除雪作業委託料</td><td>60,642千円</td></tr><tr><td>・ 除雪機械レンタル料</td><td>70,693千円</td></tr><tr><td>・ 除雪機械運転技能講習受講補助金（受講者18人：1/2補助）</td><td>47,977千円</td></tr><tr><td>・ その他（除雪車庫維持管理費・通信運搬費・印刷製本費）</td><td>144千円</td></tr><tr><td></td><td>490千円</td></tr></table>							・ 除雪機械維持管理費	179,946千円	・ 除雪作業委託料	60,642千円	・ 除雪機械レンタル料	70,693千円	・ 除雪機械運転技能講習受講補助金（受講者18人：1/2補助）	47,977千円	・ その他（除雪車庫維持管理費・通信運搬費・印刷製本費）	144千円		490千円																	
・ 除雪機械維持管理費	179,946千円																																		
・ 除雪作業委託料	60,642千円																																		
・ 除雪機械レンタル料	70,693千円																																		
・ 除雪機械運転技能講習受講補助金（受講者18人：1/2補助）	47,977千円																																		
・ その他（除雪車庫維持管理費・通信運搬費・印刷製本費）	144千円																																		
	490千円																																		
主 な 財 源	国補	社会資本整備総合交付金（2/3）					12,746千円																												
	府委	府道除雪作業委託金					8,653千円																												
	府委	歩道除雪作業委託金					235千円																												
	府委	丹後縦貫林道除雪作業委託金					748千円																												
	諸収入	伊根町風力発電所除雪作業委託金					56千円																												
成 果 ・ 課 題	○平成30年度は、降雪が少なく、除雪作業委託料の抑制に繋がった。																																		
	○除雪作業の更なる向上を目指すとともに、除雪委託業者の確保に努め、市民生活の安全・安心に取り組む必要がある。																																		
所 管 課		建設部／管理課																																	

予 算 科 目	08土木費	02道路橋梁費	03除雪対策費	01除雪対策事業		
細 事 業 名	02 除雪機械等整備事業				決算書	P.124
総 合 計 画	計 画 項 目	13 高速道路網と安全な生活道路網の整備促進				
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額
16,822千円		16,823千円		1千円	99.9 %	22,000千円
目 的	大型除雪機械や地区へ貸与する小型除雪機械を購入し、除雪体制を整える。					
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	除雪機械の新規配備及び老朽化の著しい除雪機械の更新を行った。					
	○自治会貸与除雪機械（2台） ・ 久美浜町畑区（3 t 級）・ 峰山町荒山区（3 t 級）					6,724千円
	○業者貸付除雪機械（1台） ・ 弥栄町地域（7 t 級）					9,882千円
	○京都府譲渡除雪機械（1台） ・ 弥栄町地域（13 t 級）					216千円
主 な 財 源	市債 除雪機械等整備事業債（過疎対策債）					16,600千円
成 果 ・ 課 題	○積雪時の円滑な除雪を行うため、市内全域に除雪機械を配備し、冬季における安心・安全な市民生活の維持に資することができた。 ○老朽化した除雪機械の計画的な更新を進める必要がある。					
所 管 課		建設部／管理課				

予算科目	08土木費	03河川費	01河川総務費	01急傾斜地崩壊対策事業
細事業名	01 急傾斜地崩壊対策事業			決算書 P.126
総合計画	計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
7,850千円	7,850千円	0千円	100.0 %	14,000千円
目的	急傾斜地の崩壊を未然に防止し、安全・安心を確保するため、京都府が実施する急傾斜地崩壊対策事業等の費用の一部を負担する。			
主要な事務・事業の概要	京都府が実施する丹後町平地区及び網野町小浜地区の急傾斜地崩壊対策事業に対して負担金を支出した。 ○急傾斜地崩壊対策事業負担金 7,150千円 (丹後町平) 総事業費：63,000千円 事業内容：法面工 市負担金：3,150千円 (63,000千円 × 5%) (網野町小浜) 総事業費：40,000千円 事業内容：法面工 市負担金：4,000千円 (40,000千円 × 10%) ○土砂対策（急傾斜）事業負担金 500千円 (網野町小浜) 総事業費：5,000千円 事業内容：急傾斜地指定・用地買収・法面工 市負担金：500千円 (5,000千円 × 10%) ○災害関連緊急土砂対策（急傾斜）事業負担金 200千円 (丹後町平) 総事業費：1,000千円 事業内容：法面工 市負担金：200千円 (1,000千円 × 20%)			
主な財源	市債 急傾斜地崩壊対策事業債（合併特例債）			7,400千円
成果・課題	○京都府の急傾斜地崩壊対策事業等の実施によって、災害等による急傾斜地の崩壊を未然に防ぎ、市民生活の安心・安全が確保できた。 ○京都府が策定した優先度評価による中長期整備計画に基づき、計画的に事業実施する必要がある。			
所管課	建設部／管理課（国府事業推進室）			

予算科目	08土木費	03河川費	02河川維持費	01河川維持管理事業	
細事業名	01 河川維持補修事業			決算書 P.126	
総合計画	計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実			
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額	
63,091千円		66,693千円	3,602千円	94.5 % 67,129千円	
目的 主要な事務・事業の概要	河川の除草を行うことで環境及び景観を保全し、通水断面の確保とともに通水等に支障が生じている河川施設の維持修繕を行い、浸水被害、事故の発生を未然に防止する。				
	[所管：土木課]				
	○河川維持工事 8,400千円				
	・（丹後町平）畑川 L=33m 浚渫 393千円				
	・（峰山町新町）田久谷川 L=160m 浚渫 4,161千円				
	・（網野町網野）待谷川 L=370m 浚渫 3,846千円				
	[所管：管理課]				
	○河川維持修繕 1,199千円				
	・（丹後町徳光）石原川河川修繕 151千円				
	・（大宮町奥大野）奥山川河川修繕 1,048千円				
	○河川環境整備委託料（府管理河川） 52,225千円				
	委託先：自治区、作業単価：25円/㎡ (単位：団体、千円)				
	町名	峰山町	大宮町	網野町	丹後町 弥栄町 久美浜町 合計
	委託先	19	11	15	10 13 47 115
	金額	5,381	3,848	1,577	8,592 9,848 22,979 52,225
○市管理河川草刈委託料 1,089千円					
委託先：自治区等、作業単価：25円/㎡ (単位：団体、千円)					
町名	峰山町	大宮町	網野町	丹後町 弥栄町 久美浜町 合計	
委託先	6	2	5	1 2 3 19	
金額	394	154	133	50 97 261 1,089	
○湯川放水路樋門管理委託料（網野町木津地区） 178千円					
参考	繰越明許費を除いた最終予算額			63,094千円	
	実質的な予算執行率			99.9%	
	■令和元年度への繰越事業 3,599千円				
・中川 ほか2河川 令和元年11月完成予定 3,599千円					
主な財源	府委	河川環境整備委託金（10/10）		52,225千円	
	府委	湯川放水路樋門管理委託金（10/10）		178千円	
成果・課題	○河川に繁茂する雑草の除去や、傷んだ護岸を修繕することにより、河川環境の保全及び浸水被害・事故等の未然防止に資することができた。 ○河川の草刈り作業に従事する区民の高齢化等により、作業の実施が困難な地区があるため、実施体制等について、京都府と検討する必要がある。 ○河川構造物の老朽化及び経年損耗等が進行しており、定期的な点検及び計画的な修繕が必要である。				
所管課		建設部／管理課、土木課			

予 算 科 目	08土木費	03河川費	02河川維持費	01河川維持管理事業		
細 事 業 名	01 河川維持補修事業（繰越）				決算書	P.126
総 合 計 画	計 画 項 目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実				
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額		
2,254千円	15,699千円	13,445千円	14.3 %	15,699千円		
目的	河川の通水等に支障が生じている河川施設の維持修繕を行い、浸水被害、災害の発生を未然に防止する。					
主要な事務・事業の概要	○河川維持工事 2,254千円					
	(大宮町周枳) 鶴川 L=4m 根固工 900千円					
	(大宮町久住) 木積川 L=11m 護床工 1,354千円					
主な財源						
成果・課題	○傷んだ護岸を修繕することにより、浸水被害・災害等の未然防止に資することができた。 ○河川構造物の老朽化及び経年損耗等が進行しており、定期的な点検及び計画的な修繕が必要である。					
所 管 課		建設部／土木課				

予算科目	08土木費	03河川費	03河川新設改良費	01河川改修事業		
細事業名	01 河川改修事業				決算書	P.126
総合計画	計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実				
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
36,523千円		87,000千円	50,477千円	41.9 %	87,000千円	
目的	通水等に支障が生じている河川施設の改修工事を行い、浸水被害、事故等の発生を未然に防止する。					
主要な事務・事業の概要	○河川改修工事					36,523千円
	【継続】					
	(峰山町赤坂) 大糸川		L=21m	護岸整備	10,243千円	
	(大宮町周枳) 鶴川		L=79m	河川改修	26,280千円	
参考	通次繰越費及び繰越明許費を除いた最終予算額				36,524千円	
	実質的な予算執行率				99.9%	
■令和元年度への繰越事業	〔継続費〕					50,476千円
	(大宮町周枳) 鶴川		令和2年3月完成予定	23,720千円		
	〔繰越明許費〕					
	(峰山町赤坂) 大糸川		令和元年5月完成	279千円		
	(網野町三津) 尺田川		令和2年3月完成予定	26,477千円		
主な財源	市債	河川整備事業債（合併特例債）			33,600千円	
成果・課題	河川施設の改修工事を実施することにより、浸水被害、災害等の発生の未然防止に向け進捗を図った。					
所管課		建設部／土木課				

予 算 科 目	08土木費	03河川費	03河川新設改良費	01河川改修事業		
細 事 業 名	01 河川改修事業（繰越）				決算書	P.126
総 合 計 画	計 画 項 目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実				
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額
24,441千円		31,966千円		7,525千円	76.4 %	31,966千円
目的	通水等に支障が生じている河川施設の改修工事を行い、浸水被害、事故等の発生を未然に防止する。					
主要な 事業・ 事業の 概要	○河川改修工事 24,441千円					
	【継続】					
	(峰山町赤坂) 大糸川		L=31m	護岸整備	5,894千円	
	(網野町三津) 尺田川		L=29m	河川改修	18,547千円	
主な 財源	市債 河川整備事業債（合併特例債）					22,600千円
成果・ 課題	河川施設の改修工事を実施することにより、浸水被害、災害等の発生の未然防止に向け進捗を図った。					
所 管 課		建設部／土木課				

予 算 科 目	08土木費	04都市計画費	01都市計画総務費	50都市計画総務一般経費
細 事 業 名	01 都市計画総務一般経費			決算書 P.126
総 合 計 画	計 画 項 目	12 快適な都市空間の形成		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考)当初予算額
9,913千円	9,914千円	1千円	99.9 %	10,475千円
目 的	都市計画マスタープランを推進するため、都市計画基礎調査及び用途地域指定の検討を進める。また、都市計画に係る事務を円滑に進める。			
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	都市計画業務（事業）を推進する上で必要な事務を実施した。 ○用途地域指定検討業務委託料 9,612千円 都市計画基礎調査及び用途地域検討業務 ○都市計画関連団体会費（4団体） 63千円 ○その他事務の経費 238千円 職員旅費、書籍代、有料道路通行料など 久美浜一区街なみ整備施設管理費（公園水道代、街路灯保険料）			
主 な 財 源	府補 土地利用規制対策費交付金			51千円
成 果 ・ 課 題	○都市計画基礎調査により、土地利用、建物などの現況を把握し、用途地域案の検討を進めた。 ○都市計画マスタープランに基づき、将来都市構造の推進に向け、個別の都市計画の具体化について検討する必要がある。			
所 管 課	建設部／都市計画・建築住宅課			

予算科目	08土木費	04都市計画費	02都市下水路費	01都市下水路等維持管理事業		
細事業名	01 都市下水路等維持管理事業				決算書	P.126
総合計画	計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実				
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額	
15,511千円		15,535千円	24千円	99.8%	16,959千円	
目的	災害に強いまちづくりを推進するため、都市下水路施設の維持管理を行い、住宅等への浸水被害を防止する。					
主要な事務・事業の概要	網野都市下水路ポンプ施設等の点検及び修繕を実施するとともに、風呂川の護岸維持工事を実施した。 ○網野ポンプ施設維持管理経費 12,028 千円 ・電気、水道代 6,038 千円 ・修繕料 2,799 千円 ・監視装置電話回線、メール配信 281 千円 ・自家用電気工作物保安管理委託 869 千円 ・機械設備等点検委託 1,836 千円 ・その他（保険料、ゴミ処理代、消耗品費） 205 千円 ○網野都市下水路維持管理経費 2,225 千円 ・堆積土除去業務 1,888 千円 ・草刈、浚渫業務 327 千円 ・小栓川用地賃借料 10 千円 ○工事請負費 1,258 千円 ・護岸維持工事（風呂川） 864 千円 ・浅茂川排水ポンプ場監視装置移設工事 394 千円					
主な財源	使用料	都市下水路占用料				139千円
成果・課題	網野、浅茂川ポンプ場の修繕工事を実施し、安定稼働を確保した。また、風呂川の維持工事により護岸の保全を進めた。					
所管課		建設部／都市計画・建築住宅課				

予 算 科 目	08土木費	04都市計画費	02都市下水路費	02内水処理対策事業		
細 事 業 名	01 内水処理対策事業				決算書	P.126
総 合 計 画	計 画 項 目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実				
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考)当初予算額		
122,132千円	416,701千円	294,569千円	29.3 %	317,740千円		
目 的	社会資本整備総合交付金を活用し、公共下水道浸水対策事業を実施することにより、内水による浸水被害の発生を未然に防止する。					
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○小栓川排水区整備事業 118,454千円					
	・小栓川雨水ポンプ場建設工事委託 118,454千円					
	○京丹後市ストックマネジメント計画策定（雨水分） 3,151千円					
	・京丹後市ストックマネジメント策定業務委託 3,151千円					
	○事務費（旅費、消耗品費、燃料費、有料道路通行料） 527千円					
	参考	繰越明許費を除いた最終予算額		122,155千円		
		実質的な予算執行率		99.9 %		
	■令和元年度への繰越事業 294,546千円					
	・小栓川雨水ポンプ場建設工事委託 令和2年3月完成予定 294,546千円					
主 な 財 源	国補 市債	浸水対策下水道事業費補助金（5／10） 都市下水路整備事業債（合併特例債）			58,092千円 60,400千円	
成 果 ・ 課 題	網野町地内の小栓川排水区において、浸水被害軽減に向けて進捗を図るとともに、早期に効果が発現するよう効率的に事業を実施する必要がある。					
所 管 課		建設部／土木課				

予算科目	08土木費	04都市計画費	02都市下水路費	02内水処理対策事業		
細事業名	01 内水処理対策事業（繰越）				決算書	P.126
総合計画	計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実				
決算額 ①		最終予算額 ②		不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額
154,884千円		156,800千円		1,916千円	98.7 %	156,800千円
目的	社会資本整備総合交付金を活用し、公共下水道浸水対策事業を実施することにより、内水による浸水被害の発生を未然に防止する。					
主要な事務・事業の概要	○小栓川排水区整備事業 154,884千円 ・小栓川雨水ポンプ場建設工事委託 120,000千円 ・小栓川雨水幹線改修工事 L=72m 34,884千円					
主な財源	国補 市債	浸水対策下水道事業費補助金（5/10） 都市下水路整備事業債（合併特例債）				75,000千円 74,500千円
成果・課題	網野町地内の小栓川排水区において、浸水被害軽減に向けて進捗を図るとともに、早期に効果が発現するよう効率的に事業を実施する必要がある。					
所管課		建設部／土木課				

予 算 科 目		08土木費	04都市計画費	03公園費	01公園等指定管理運営事業	
細 事 業 名					01 都市公園等維持整備事業	決算書 P.128
総 合 計 画		計 画 項 目	12 快適な都市空間の形成			
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考)当初予算額	
58,027千円		58,064千円	37千円	99.9 %	66,864千円	
目的		都市公園を適正に維持管理し、市民が快適で安全・安心に利用できるようにする。				
主要な事務・事業の概要		指定管理による適切な施設管理と利用者サービスの向上を図る事業を実施した。また、峰山途中ケ丘公園の大型木製遊具の修繕、京丹後夢球場ラパーフェンス等の改修を実施し、利用者の安全を確保した。				
		○峰山途中ケ丘公園・峰山総合公園維持管理経費 36,291 千円				
		・指定管理委託料 29,700 千円				
		・用地賃借料（借上面積：1,995㎡） 202 千円				
		・修繕料（峰山途中ケ丘公園大型木製遊具修繕ほか） 6,186 千円				
		・その他（備品購入費、看板電気代、保険料ほか） 203 千円				
		○八丁浜シーサイドパーク維持管理経費 15,594 千円				
		・指定管理委託料 15,539 千円				
		・その他（消耗品費、保険料ほか） 55 千円				
		○工事請負費 6,142 千円				
		・京丹後夢球場ラパーフェンス改修工事 5,372 千円				
		・峰山総合公園テニスコート改修工事ほか 770 千円				
		(参考) 都市公園利用状況				
		施設名		利用数	利用料金	
		峰山途中ケ丘公園		23,293人	440千円	
		峰山総合公園		23,440人	2,409千円	
		施設名		利用数	利用料金	
		八丁浜シーサイドパーク		26,882人	193千円	
		八丁浜有料駐車場		8,439台	4,229千円	
主な財源		使用料	都市公園占用料			14千円
		使用料	都市公園使用料			63千円
		市債	都市公園整備事業債（合併特例債）			4,900千円
		市債	過疎地域自立促進特別事業債（過疎対策債）			40,700千円
成果・課題		○都市公園の維持管理を適正に実施し、利用者の安全で安心な利用に資することができた。				
		○峰山途中ケ丘公園の大型木製遊具の修繕、京丹後夢球場ラパーフェンス等を改修し利用者の安全を確保した。				
所 管 課		建設部／都市計画・建築住宅課				

予 算 科 目	08土木費	04都市計画費	03公園費	01公園等指定管理運営事業	
細 事 業 名	01 都市公園等維持整備事業（繰越）				決算書 P.128
総 合 計 画	計 画 項 目	12 快適な都市空間の形成			
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額
74,175千円		110,443千円	36,268千円	67.1 %	110,443千円
目 的	峰山途中ヶ丘公園の東側に新たな駐車場を整備し、駐車場不足を解消する。				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○工事請負費74,168 千円 ・ 峰山途中ヶ丘公園駐車場整備工事72,302 千円 駐車台数：137台増設 ・ 峰山途中ヶ丘公園東側駐車場防犯灯設置工事1,866 千円 ○補償費7 千円 ・ 峰山途中ヶ丘公園駐車場整備に伴う 支障物件移転補償（電柱支線移転 1本）7 千円				
主 な 財 源	市債 都市公園整備事業債（合併特例債）				68,500千円
成 果 ・ 課 題	駐車場を整備することで駐車場不足が緩和されたが、用地取得困難により一部完了していないため、早期に用地取得できるよう、引き続き、取り組む必要がある。				
所 管 課		建設部／都市計画・建築住宅課			

予 算 科 目		08土木費	04都市計画費	03公園費	01公園等指定管理運営事業
細 事 業 名		02 峰山途中ヶ丘公園陸上競技場リニューアル事業			決算書 P.128
総 合 計 画		計画項目	27 多様な学びを支援する社会教育の充実		
決 算 額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
12,940千円		22,600千円	9,660千円	57.2 %	0千円
目的	第2次京丹後市スポーツ推進計画に掲げる「スポーツ・レクリエーション環境の整備・充実」等を推進するため、日本陸連第3種公認陸上競技場として整備する。				
主要な事務・事業の概要	陸上競技場及び附属施設の改修に向け、必要となる設計及び測量等を実施した。				
	○第3種公認陸上競技場改修整備				7,981千円
	・ 陸上競技場改修工事設計業務				5,638千円
	・ 地形測量業務				2,268千円
	・ 基本図面作成業務				75千円
	○附属施設等改修整備				4,949千円
	・ 附属施設等改修工事実施設計業務				4,841千円
	(既存屋外トイレ及び管理棟改修、公共下水道接続、東側駐車場防犯灯設置)				
	・ 新築工事に係る敷地図作成及び面積確認業務				108千円
	○その他経費				10千円
・ 専門図書購入(送料含む)					
		参考	繰越明許費を除いた最終予算額	12,942千円	
			実質的な予算執行率	99.9 %	
■令和元年度への繰越事業					
・ 陸上競技場整備工事資材特別単価調査業務(平成31年4月完了)				1,696千円	
・ 附属施設新築工事基本設計及び実施設計業務(令和元年5月完了)				7,962千円	
主な財源	市債 都市公園整備事業債(過疎対策債)				12,800千円
成果・課題	日本陸連第3種公認陸上競技場に必要となる改修等に係る設計及び測量等を計画的に実施した。				
所 管 課		教育委員会事務局／生涯学習課(スポーツ推進室)			

予算科目	08土木費	04都市計画費	04下水道整備費	01公共下水道事業特別会計繰出金																																			
細事業名	01 公共下水道事業特別会計繰出金			決算書 P.128																																			
総合計画	計画項目	16 きれいな水を循環させる上下水道の整備																																					
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率																																			
899,000千円		899,000千円	0千円	100.0 %																																			
				(参考) 当初予算額 899,000千円																																			
目的	総務省から示される下水道事業に対する繰出基準を参考に公共下水道事業特別会計へ繰出金を支出することにより、同会計の経営の健全化を促進し経営基盤の強化を図る。																																						
主要な事務・事業の概要	一般会計から公共下水道事業特別会計に対して繰出金を支出した。																																						
	【繰出金の内容】																																						
	(単位：千円)																																						
	<table><tr><td colspan="2">項 目</td><td>公共下水</td><td>特環下水</td><td>合 計</td></tr><tr><td rowspan="6">基準内</td><td>起債償還元金</td><td>21,475</td><td>23,597</td><td>45,072</td></tr><tr><td>起債償還利子</td><td>5,197</td><td>5,161</td><td>10,358</td></tr><tr><td>分流式下水道等経費</td><td>336,572</td><td>324,461</td><td>661,033</td></tr><tr><td>高資本対策経費</td><td>99,636</td><td>81,473</td><td>181,109</td></tr><tr><td>児童手当</td><td>636</td><td>576</td><td>1,212</td></tr><tr><td>地方公営企業法適用経費</td><td>216</td><td>0</td><td>216</td></tr><tr><td colspan="2">合 計</td><td>463,732</td><td>435,268</td><td>899,000</td></tr></table>				項 目		公共下水	特環下水	合 計	基準内	起債償還元金	21,475	23,597	45,072	起債償還利子	5,197	5,161	10,358	分流式下水道等経費	336,572	324,461	661,033	高資本対策経費	99,636	81,473	181,109	児童手当	636	576	1,212	地方公営企業法適用経費	216	0	216	合 計		463,732	435,268	899,000
	項 目		公共下水	特環下水	合 計																																		
	基準内	起債償還元金	21,475	23,597	45,072																																		
		起債償還利子	5,197	5,161	10,358																																		
		分流式下水道等経費	336,572	324,461	661,033																																		
		高資本対策経費	99,636	81,473	181,109																																		
		児童手当	636	576	1,212																																		
地方公営企業法適用経費		216	0	216																																			
合 計		463,732	435,268	899,000																																			
主な財源																																							
成果・課題																																							
所管課	上下水道部／経営企画整備課																																						

予 算 科 目	08土木費	05住宅費	01住宅管理費	02市営住宅維持管理事業	
細 事 業 名	01 市営住宅維持管理事業			決算書	P.128
総 合 計 画	計 画 項 目	14 安全でうるおいのある住環境の形成			
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額	
27,996千円	28,036千円	40千円	99.8 %	21,731千円	
目的	公営住宅と特定公共賃貸住宅の建物や施設に係る維持管理を行い、入居者へ良好な住宅を提供し、生活の安定と社会福祉の増進を図る。				
主要な事務・事業の概要	特定公共賃貸住宅4戸を含む市営住宅371戸の住居や共用施設に係る維持管理を行った。 ○修繕、環境整備 12,576 千円 ・退去及び維持修繕（141件） 11,346 千円 ・草刈、雑木伐採、施設清掃 1,230 千円 ○清掃保守点検 144 千円 浄化槽検査、消防設備点検、貯水槽清掃点検 144 千円 ○土地借上料（市営住宅6団地） 2,796 千円 ※用地借上面積： 11,026.39㎡ 2,796 千円 ○工事請負費 11,533 千円 ・成願寺南団地外壁改修工事 7,556 千円 ・後ヶ浜団地、堤団地CB塀撤去工事 2,248 千円 ・解体工事（三坂団地2戸） 1,729 千円 ○その他 947 千円 消耗品費、保険料ほか 947 千円				
主な財源	使用料 府補	市営住宅使用料現年度分 15,590千円			未来づくり交付金（ﾌﾞｯｸﾞ塀撤去事業） 800千円
成果・課題	○成願寺南団地外壁工事や後ヶ浜団地、堤団地CB（コンクリートブロック）塀撤去工事等により良好な住宅提供及び安心安全な住環境の推進が図られた。 ○修繕が必要な団地について公営住宅ストック総合活用計画に基づき、住宅の改善等を推進し、安心して暮らせる住宅整備を更に進める必要がある。				
所 管 課		建設部／都市計画・建築住宅課			

予算科目	08土木費	05住宅費	01住宅管理費	04空家等対策事業		
細事業名	01 空家等対策事業				決算書	P.128
総合計画	計画項目	14 安全でうるおいのある住環境の形成				
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額		
2,968千円	2,970千円	2千円	99.9 %	1,989千円		
目的	空家等対策計画に基づく施策を推進し、市民の安全・安心の確保、生活環境の保全及び空家等の活用促進を図る。					
主要な事務・事業の概要	事前指導等や除却費補助により老朽危険空家の除却や所有者不明空家の流通を促進するとともに、空家情報のデータベース化や関係団体との協定締結を行い、空家の管理や相談対応の充実を図った。 ○空家等対策協議会の開催（1回）77 千円 ・委員報酬（14千円×2人、4千円×6人）52 千円 ・費用弁償25 千円 ※委員数9人（報酬支払対象8人） ○相続財産管理人制度活用による流通促進事業（2件）1,212 千円 ・予納金（600千円×2）1,200 千円 ・手続に係る経費（官報掲載料等）12 千円 ○空家データベースカスタムフォーム作成等業務委託料552 千円 ○空家等基礎調査経費（著作物使用料）30 千円 ○老朽危険空家等除却費補助金（5件）982 千円 ○その他事務の経費等115 千円 ・旅費（職員）、有料道路通行料81 千円 ・空家対策関係書籍等購入費27 千円 ・空家等対策連携協定用 証書ファイル等7 千円					
主な財源	国補 諸収入	社会資本整備総合交付金（1/2） 相続財産管理人予納返還金			491千円 600千円	
成果・課題	○空家情報のデータベース化、空家管理の実施や関係団体と協定締結を行い相談対応を充実させるとともに空家等の除却、所有者不明空家の流通を促進した。 ○計画及び条例に基づき、空家等の管理促進、活用促進、特定空家等の対処を実施し増加の抑制をしていく必要がある。					
所管課		建設部／都市計画・建築住宅課				

予算科目	08土木費	05住宅費	01住宅管理費	05久借定住促進住宅維持管理事業		
細事業名	01 久借定住促進住宅維持管理事業				決算書	P.128
総合計画	計画項目	14 安全でうるおいのある住環境の形成				
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
186千円		202千円	16千円	92.0 %	349千円	
目的	丹後定住促進住宅久借団地の適切な維持管理を図り、丹後町宇川地域の定住を促進する。					
主要な事務・事業の概要	丹後定住促進住宅の適切な維持管理に努めた。					
	棟数：3棟					
	○修繕料（浄化槽プロワの修繕、引込柱交換等）				153 千円	
	○火災保険料・浄化槽検査手数料				33 千円	
主な財源	使用料	市営住宅使用料現年度分				168千円
成果・課題	○住宅の維持修繕を行い、住宅の保全管理を図り、入居者へ良好な住宅環境を提供することができた。 ○当該住宅は、建築後18年が経過しており、今後修繕費の増加が見込まれるが、定期的な修繕を行いながら施設の適正な維持管理を図る必要がある。					
所管課		建設部／都市計画・建築住宅課				

予算科目	08土木費	05住宅費	01住宅管理費	50住宅一般経費
細事業名	01 住宅一般経費			決算書 P.128
総合計画	計画項目	14 安全でうるおいのある住環境の形成		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
2,355千円	2,545千円	190千円	92.5 %	1,231千円
目的	市営住宅の維持管理及び建築事業に係る事務を円滑に進める。			
主要な事務・事業の概要	市営住宅の家賃算定や入居、退去等に係る事務を実施した。 ○市営住宅入居者選考委員会の開催（2回）58 千円 ・委員報酬 52 千円 （4千円×延べ13人） ・費用弁償 6 千円 ※委員数8人（報酬支払い対象7人） ○公営住宅管理システム委託1,396 千円 ・バージョンアップ業務委託料 1,250 千円（元号切替対応） ・保守管理委託料 146 千円 ○建築事業事務経費582 千円 ・建築積算ソフトウェア借上料 361 千円 ・単価データ使用料 119 千円 ・建築関係講習会負担金 102 千円 ○その他事務経費319 千円 職員旅費、書籍代、印刷代、有料道路通行料ほか			
主な財源	使用料	市営住宅使用料現年度分		2,253千円
成果・課題	○市営住宅空家入居募集を10回実施し、住宅に困窮する方への住宅提供に係る募集業務を行うとともに特定公共賃貸住宅3戸を含む市営住宅277戸の入居管理と運営ができた。 ○公営住宅管理システムのバージョンアップを行い、改元に対応することができた。			
所管課	建設部／都市計画・建築住宅課			

予 算 科 目	08土木費	05住宅費	03住宅耐震事業費	01住宅・建築物耐震改修等事業
細 事 業 名	01 住宅・建築物耐震改修等事業			決算書 P.128
総 合 計 画	計 画 項 目	14 安全でうるおいのある住環境の形成		
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率
1,971千円		1,976千円	5千円	99.7 %
				(参考) 当初予算額 9,752千円
目 的	昭和56年以前の旧耐震基準で建てられた木造住宅の耐震診断・耐震改修等を推進し、地震による建物の倒壊から住民の生命・財産を守るとともに減災を目指す。			
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	国の「建築物の耐震化緊急対策方針」を受け、昭和56年以前の木造住宅の耐震診断や耐震改修に係る費用の助成を行った。また、公道に面して設置されているCB（コンクリートブロック）塀で、基準不適合のものを除却する費用の補助を行った。			
	○事務費（職員旅費、有料道路通行料）			27千円
	○需用費（消耗品費）			20千円
	○木造住宅耐震診断委託料 50千円×4件			200千円
	昭和56年以前の旧耐震基準で建てられた木造住宅の耐震性を判定する。 診断料53千円（市50千円、申請者3千円）。			
	○木造住宅耐震改修補助金 900千円×1件			900千円
昭和56年以前の旧耐震基準で建てられた木造住宅で、耐震診断の結果、地盤と基礎を除く上部構造評点が1.0未満のものが対象。 改修に要した費用の4分の3を補助。（上限900千円）				
○木造住宅簡易耐震改修補助金 300千円×2件			600千円	
昭和56年以前の旧耐震基準で建てられた木造住宅で、耐震診断の結果、上部構造評点が1.0未満のものが対象。 部分的改修に要した費用の4分の3の額（上限300千円）				
○民間施設ブロック塀除却費補助金 150千円×1件、74千円×1件			224千円	
公道に面して設置されているブロック塀で、地盤面から60cmを超え、建築基準法施行令に定める基準に適合しないものを除却する工事が対象。 除却工事に要した費用の4分の3の額（上限150千円）				
主 な 財 源	国補	建築物耐震改修等事業費補助金（耐震診断1/2、耐震改修1/4）		587千円
	府補	建築物耐震改修等事業費補助金（耐震診断1/4、耐震改修1/2）		856千円
成 果 ・ 課 題	○耐震診断士派遣及び耐震改修工事により耐震化率が向上し、市民の安全・安心な住まい整備につながった。 ○地震による倒壊の危険があるブロック塀の除却により、安全確保が図られた。 ○平成29年度より補助件数が減少しており、耐震診断実施後に耐震改修等を実施していない住宅を中心に更なる制度周知を進める必要がある。			
所 管 課		建設部／都市計画・建築住宅課		

予算科目	08土木費	06港湾費	01港湾総務費	01アメニティーク美浜管理事業		
細事業名	01 アメニティーク美浜管理事業				決算書	P.130
総合計画	計画項目	5 次世代への美しい自然環境の継承				
決算額 ①		最終予算額 ②		不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
2,426千円		2,463千円		37千円	98.4 %	2,463千円
目的	アメニティーク美浜公園を適正に管理し、市民及び観光客へ憩いの場を提供する。					
主要な事務・事業の概要	○維持管理費 248千円 消耗品費、光熱水費等					
	○アメニティーク美浜公園管理委託料 2,178千円 草刈業務、芝生管理、トイレ清掃					
	アメニティーク美浜（全体面積28,154.39㎡） 京都府と京丹後市が整備した施設を一体的に管理しているものであり、 京都府施設の管理に係る経費については、京都府から委託金を受ける。 （面積内訳） 京都府 10,575.29㎡ 京丹後市 17,579.10㎡					
主な財源	府委	アメニティーク美浜管理委託金				1,598千円
成果・課題	アメニティーク美浜公園の適正な管理により、市民や観光客へ憩いの場を提供し、地域活性化に寄与した。					
所管課		建設部／管理課				

予算科目	08土木費	06港湾費	01港湾総務費	50港湾総務一般経費		
細事業名	01 港湾総務一般経費				決算書	P.130
総合計画	計画項目	5 次世代への美しい自然環境の継承				
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
412千円		442千円	30千円	93.2 %	1,511千円	
目的	久美浜港湾の漂着ゴミ等の清掃業務を行い、港湾環境及び景観を保全する。					
主要な事務・事業の概要	○久美浜港湾清掃業務委託料					185千円
	・実施地区：十楽、神崎					185千円
	※港湾隣接地区へ委託し実施					
	○十楽埋立地管理委託料（草刈作業）					77千円
	○全国海岸協会負担金					30千円
	○京都府海岸協会負担金					70千円
主な財源	府補 海岸漂着物地域対策推進事業補助金（10/10）					184千円
成果・課題	○京都府から受託した久美浜港湾内の清掃業務において、港湾に隣接している自治会等へ再委託し、港湾の環境保全を図ることができた。 ○豪雨時等に河川から港湾に流れ込む大量の漂着ゴミ等の堆積に対しても、引き続き、緊急対応ができるよう京都府に要望していく。					
所管課		建設部／管理課				